

さいたま市  
大宮盆栽美術館  
年報

第14号



令和5(2023)年度

さいたま市  
大宮盆栽美術館

さいたま市  
大宮盆栽美術館  
年報

第14号

令和5(2023)年度



# 目 次

## I 概 要

1 設立の経緯	1
2 方針	1
3 沿革	1
4 組織	2
5 さいたま市大宮盆栽美術館運営委員会	3
6 さいたま市盆栽資料等選考評価委員会	3
7 施設	4
8 展示室	5
(1) コレクションギャラリー	5
(2) 企画展示室	6
(3) 盆栽庭園	6
9 さいたま国際盆栽アカデミー実習場・培養場	7
10 コレクションガイド（館内検索システム）	7
11 映像コーナー	8
12 情報コーナー	8
13 ウェブサイト	8
14 盆美eガイド	9

## II 展覧会事業

1 通常展	10
(1) 【季節の展示】 盆栽展〈四季〉	10
(2) 【歴史と文化】 盆栽クロニクル—年代記—	13
2 企画展・特別展	14
(1) さつき盆栽展	14
(2) 山水涼景～水石の世界	15
(3) 夏休み子どもほんさい美術館	16
(4) 白砂と石の風景—「盆石」の旅	17
(5) さいたま国際芸術祭 2023 市民プロジェクト さいたま市文化施設～味変企画	18
(6) 第32回 作家展（日本盆栽作家協会）	19
(7) 子どもたちに伝えたい さいたまの盆栽	20
(8) 特別展 煎茶と盆栽～「盆栽」の夜明け	21

## III 普及事業

1 定例講座	23
(1) 盆栽ワークショップ—はじめての盆栽づくり	23
(2) 子ども向けワークショップ—はじめての盆栽づくり	24
(3) 盆栽実技	24
(4) 盆栽相談デー	25
(5) ギャラリートーク	25
2 特別講座	26
(1) 夏休みワークショップ—こけ玉盆栽づくり	26

(2) 出張講座等	26
3 学校連携	27
(1) 学校見学	27
(2) 出張盆栽授業	28
(3) 埼玉県立浦和北高等学校・越谷西高等学校 盆栽作品展	28
(4) さいたま市立土呂中学校・第2学年美術科授業作品選抜展覧会「万才・溢彩・BONSAI」	29
(5) 職場体験、研修等の受け入れ	29
4 イベント	30
(1) ゆかた de 盆美	30
(2) SAITAMA Wheel 2023 THE BONSAI Microcosm Journey 大宮盆栽美術館夜間特別ライトアップ	30
(3) 岩槻人形博物館×大宮盆栽美術館のコラボイベント「和の調和～岩槻人形博物館と大宮盆栽美術館を堪能しよう!」	31
(4) 館外イベント出展事業（アウトリーチ活動）	31
5 ミュージアム・サポーターの活動	32
IV さいたま国際盆栽アカデミー	33
1 日本人向けコース	33
2 外国人向け中級コース（盆栽愛好者向け講座）	34
V 国際交流	35
1 米国立盆栽・盆景園との姉妹館交流事業	35
2 オーストラリア首都特別地域政府立キャンベラ樹木園との姉妹館提携	35
3 その他の交流	35
VI 調査研究および社会貢献活動	36
1 執筆・寄稿・講師・出演	36
VII 資料	36
1 購入資料	36
2 寄贈資料	36
3 収蔵資料利用	36
4 収蔵資料件数	37
5 図書寄贈者一覧	37
VIII 広報活動	38
1 ミュージアムレター「ジンシャリ」	38
2 公式 SNS の運用	38
3 主な広報実績	39
IX ミュージアムグッズ	39
X 入館者数等	40
1 入館者数	40
2 展覧会別入館者数（企画展・特別展）	40
3 外国人入館者数	41
4 施設利用	41
XI 条例・規則	41

# I 概 要

## 1 設立の経緯

盆栽は、今日では日本が世界に誇るものとして、多くの人びとに親しまれている伝統文化である。大正12年（1923）の関東大震災を契機として誕生した、さいたま市北区内の「大宮盆栽村」は、日本屈指の盆栽園が集まる地域として、国内はもとより世界各国の盆栽愛好家の間でその名が知られている。

この貴重な地域資源である盆栽文化の振興・活用を図るため、さいたま市誕生以前の旧大宮市では、盆栽村地区及びその周辺一帯を文化・歴史・観光の拠点として整備する「盆栽公苑構想」を策定し、埼玉県との共同事業である「国際大宮盆栽会館（仮）」の整備を中心に、推進が図られた。平成13年にさいたま市となってからも、事業を継続し、埼玉県との共同事業によって、「盆栽公苑構想」の再構築を図り、平成17年3月、「さいたま市盆栽文化振興・活用基本構想」を策定した。

ここでは、盆栽文化の振興・活用を目的として、個性豊かな生活文化活動の推進、緑あふれるまちづくり、個性あふれる、愛着の持てるふるさとづくり、盆栽に関する産業の振興などを掲げた。また、盆栽文化の普及と活性化という振興戦略及び盆栽をテーマとした地域の活性化という活用戦略を設定し、その実現に向けた連携の仕組みとして、盆栽文化ネットワークを構築することとした。

このような視点のもと、平成18年度にさいたま市盆栽関連施設等基本計画を策定、平成19年度に旧高木コレクションの盆栽100点を含む資料523点を一括して購入した。大宮盆栽美術館は、こうした資料の調査研究、情報発信等を行うための拠点施設として整備されることになり、平成20年（2008）10月着工、平成22年（2010）3月28日、総合的な盆栽文化を発信する世界で初めての公立の「盆栽美術館」として開館した。

## 2 方 針

盆栽を中心として、盆器、水石、絵画資料、歴史・民俗資料などの紹介により、さいたま市の伝統産業にも指定されている盆栽の文化を、ひろく内外に発信することを目的に活動する。

活動の柱として、以下の3つの方針を掲げる。

### 1 盆栽に関わる研究センター

盆栽の歴史や意義を、多様な観点から研究してわかりやすく公開し、講座、講演会などの普及事業を開催する。

### 2 さいたま市の新しい観光拠点

盆栽のすばらしさに気軽に触れられる、さいたま市の新たな観光拠点を目指す。

### 3 盆栽産業活性化の一助

多くの方が盆栽に親しむきっかけをつくることで、伝統産業の活性化をはかる。

## 3 沿 革

平成18年(2006) 3月	文化芸術振興計画の策定（盆栽関連施設等事業を推進）
平成19年(2007) 3月	盆栽関連施設等整備基本計画の策定
平成19年(2007) 7月	埼玉県と盆栽関連施設に係る協定書の締結
平成19年(2007) 9月	埼玉県と土地無償賃貸契約の締結
平成20年(2008) 2月	旧高木コレクション（523点）購入
平成20年(2008) 4月	文化施設建設準備室設置
平成20年(2008) 10月	建設工事着工
平成21年(2009) 4月	大宮盆栽美術館開設準備委員会設置
平成21年(2009) 6月	さいたま市大宮盆栽美術館条例制定
平成21年(2009) 10月	文化施設建設準備室大宮盆栽美術館開設準備担当配置

平成22年(2010) 1月	大宮盆栽美術館竣工
平成22年(2010) 3月	さいたま市大宮盆栽美術館条例施行規則制定
平成22年(2010) 3月	さいたま市大宮盆栽美術館開館
平成24年(2012) 1月	音声ガイド導入(同年4月から英語、中国語、韓国語を加えた4カ国語対応)
平成25年(2013) 4月	さいたま市大宮盆栽美術館ボランティア解説員設置
平成25年(2013) 7月	公式 Facebook 開設、運用
平成26年(2014) 4月	さいたま市大宮盆栽美術館運営委員会規則施行・設置
平成27年(2015) 3月	英語版ページを拡充した改訂版公式ウェブサイト運用
平成27年(2015) 4月	さいたま市盆栽資料等選考評価委員会条例施行・設置
平成28年(2016) 2月	国際盆栽シンポジウム開催(2月11日、よみうり大手町ホール)
平成29年(2017) 3月	アカデミー実習場・培養場竣工
平成29年(2017) 3月	盆栽庭園垣根修繕、庭園南側植栽部撤去・懸崖台設置
平成29年(2017) 4月	第8回世界盆栽大会 in さいたま開催 サブ会場
平成29年(2017) 5月	さいたま国際盆栽アカデミー開講
平成29年(2017) 11月	累計来館者数 50 万人到達
平成29年(2017) 12月	公式 Instagram 開設、運用
平成30年(2018) 10月	無料英語ガイド「Welcome Monday」開始
平成31年(2019) 3月	盆栽庭園内ウッドデッキ設置
令和元年(2019) 8月	米国立盆栽・盆景園(米農務省国立樹木園内)との姉妹館提携締結
令和2年(2020) 3月	中国語(簡・繁)及び韓国語版ページを拡充した改訂版公式ウェブサイト運用 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月2日から5月28日まで臨時休館
令和3年(2021) 3月	スマートフォンを利用したコレクションガイド「盆美eガイド」導入 撮影可能エリアを庭園全域及び企画展示室に拡大
令和5年(2023) 4月	既存のボランティア組織とさいたま国際盆栽アカデミー「中級修了者の会」 を統合し、新たなボランティア組織として「さいたま市大宮盆栽美術館 ミュージアム・サポーター」を設置
令和5年(2023) 11月	オーストラリア首都特別地域政府立キャンベラ樹木園との姉妹館提携締結

## 4 組 織

さいたま市  
スポーツ文化局

局長 鶴田 達也

文化部 ————— 大宮盆栽美術館

部長 川田 泰則

館長 清水 一郎 (非常勤)  
盆栽振興アドバイザー 山田登美男 (非常勤)  
参事兼副館長 金子 淳一

— 管理係

主幹兼係長 石井 崇  
主査 山川麻衣子  
主査 萩原 明美  
主事 深谷 正貴  
国際交流員 タートン ハリー

— 事業係

主幹兼係長 田口 文哉(学芸員)  
主査 菅原 千華(学芸員)  
主任 中村 麗理  
主任 中村 慎太(盆栽技師)  
主任 小棚 明生(盆栽技師)  
主事 立石 見雪

(令和6年3月31日付)

## 5 さいたま市大宮盆栽美術館運営委員会

さいたま市大宮盆栽美術館運営委員会規則に基づき、大宮盆栽美術館の適正な運営をはかるため、基本的な運営事項について審議し助言を得るために設置された。

### (1) さいたま市大宮盆栽美術館運営委員会名簿（10名）

	氏名	備考
委員長	小島孝夫	成城大学 文芸学部 教授
副委員長	大和田昌宏	(公社)さいたま観光国際協会 事務局次長
委員	池田伸子	埼玉県立歴史と民俗の博物館 学芸主幹
委員	砂生敏一	(株)埼玉新聞社 編集局長
委員	杉山正司	國學院大學 非常勤講師
委員	高嶋修一	青山学院大学 経済学部 教授
委員	谷中智恵子	ほんさい遊々 監事（盆栽普及活動家）
委員	松澤純一	埼玉県産業労働部 観光課長
委員	三輪史	東日本旅客鉄道(株) 大宮支社 地域共創部 地域連携ユニット ユニットリーダー
委員	森紀与子	盆栽愛好家

(令和6年3月31日現在)

※委員以下五十音順

### (2) 開催状況

	期日	場所
第1回	令和5年8月2日(水)	大宮盆栽美術館講座室
第2回	令和6年1月26日(金)	大宮盆栽美術館講座室

## 6 さいたま市盆栽資料等選考評価委員会

さいたま市盆栽資料等選考評価委員会条例に基づき、盆栽資料等の収集を適正に行うため、さいたま市の諮問に応じ、資料の選考及び評価を行うために設置された。

### (1) さいたま市盆栽資料等選考評価委員会（4名）

	氏名	備考
委員長	平野恵	台東区立中央図書館 郷土・資料調査室 専門員
委員	池田伸子	埼玉県立歴史と民俗の博物館 学芸主幹
委員	今井昭一	日本盆栽協同組合 前理事長
委員	須藤雨伯	景道二世家元

任期 令和5年2月17日から令和7年2月16日まで

(令和6年3月31日付)

※委員以下五十音順

### (2) 開催状況

	期日	場所
第1回	令和5年12月19日(火)	大宮盆栽美術館講座室

平成 22 年 1 月

## 7 施 設

設 計 高橋設計株式会社

建設工事

### (1) 建物概要

所在地 さいたま市北区土呂町  
2丁目24番地3

敷地面積 6,335.07 m<sup>2</sup>

延床面積 1,497.58 m<sup>2</sup>

構 造 鉄筋コンクリート造  
(地下1階、地上2階)

建築・外構工事 佐伯・スミダ建設特定  
共同企業体

機械設備工事 富士管工株式会社

電気設備工事 旭電気工業株式会社

展示設計・製作 株式会社丹青社

### (2) 主要施設

1階：ロビー、ミュージアムショップ、映像  
コーナー、コレクションギャラリー、企  
画展示室、盆栽庭園、盆栽工房、事務室、  
応接室

2階：講座室、盆栽テラス

地階：収蔵庫

### (4) 収蔵庫概要

面 積：収蔵庫 1 183.12 m<sup>2</sup>  
収蔵庫 2 43.15 m<sup>2</sup>

空 調：

収蔵庫 1 自然循環型、独立型除湿機設置

収蔵庫 2 フィルターを通して循環  
除湿および加湿機を設置

\* 室内に温湿度記録計を設置

温湿度設定 22℃ ± 2、55% ± 5

警備設備：カード感知式および鍵式施錠

火災報知：自動火災報知設備

消火設備：収蔵庫 1 ABC 粉末消火器

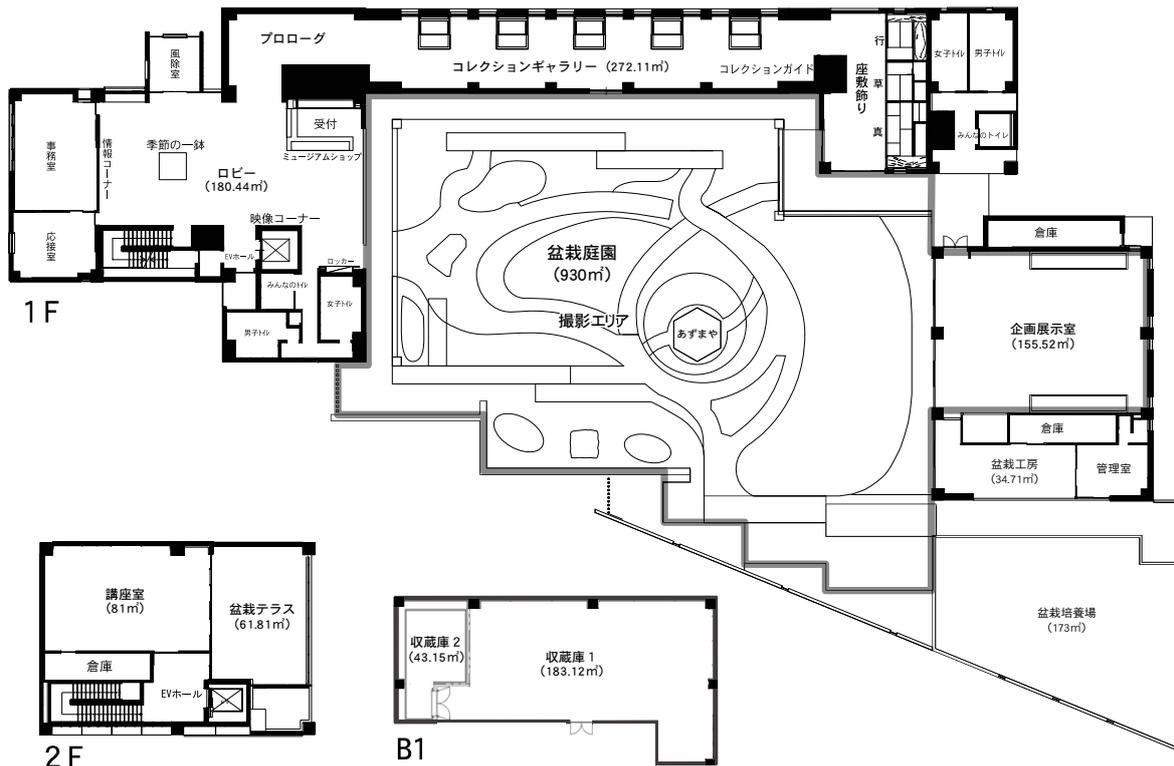
収蔵庫 2 ハロン化物消火設備

### (3) 整備事業費

建設費 1,034,050,500 円

展示設計・展示製作 90,078,450 円

工 期 平成 20 年 10 月～



## 8 展示室

### (1) コレクションギャラリー

当館のコレクションギャラリーは、プロローグ、ギャラリー、座敷飾りという、三つの空間で構成されており、主に通常展示を行う展示空間となっている。

プロローグでは、壁面パネルによって所蔵する盆栽をはじめ、盆器、水石、絵画、歴史・民俗資料を紹介し、続いて「盆栽を見るために」として、盆栽の鑑賞方法の基本を解説している。



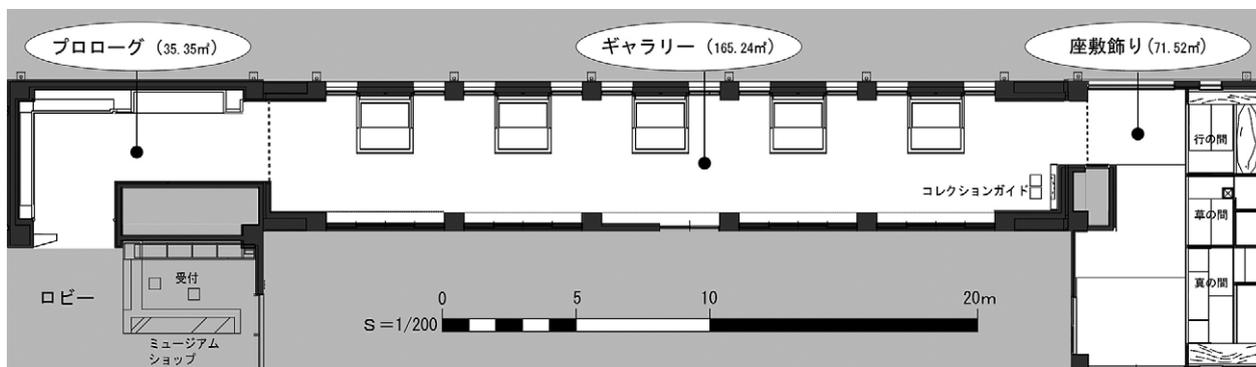
プロローグ



ギャラリー（プロローグ側より）

ギャラリーは、廊下状の空間に5台の専用展示台を設置し、盆栽用の室内展示空間としている。また、このギャラリーにはコレクションガイドが設置されている。

座敷飾りは、土間から一段高く作った、和室風の展示空間である。三つの座敷を横に並べた構造をとっており、それぞれ建材等を変えることで、真、行、草の様式の変化が判る構造としている。



コレクションギャラリー平面図

## (2) 企画展示室

企画展示室は、盆栽以外の資料等による展示会場となる。

面積：155.52㎡

天井高：3.7m

設備：

壁付きケース（エアタイト式） 1基

壁付きケース（自然循環式） 1基

のぞき型可動式ケース（エアタイト式） 4台

外寸 D. 900 × W. 1800 × H. 1050 mm

行灯型可動式ケース（自然循環式） 3台

外寸 D. 900 × W. 900 × H. 2050 mm

可動壁 H. 3350 × W. 1250 mm 32枚

空調：

ロスナイ換気あるいは自然循環(24時間空調)

独立型除湿機設置、ケース内に調湿剤を併用

\*室内およびケース内に温湿度記録計を設置

温湿度設定 20℃ ± 5、55% ± 5

警備設備：

開館時 警備員による巡視、監視カメラ設置

閉館時 機械警備（赤外線検知式）

火災報知：自動火災報知設備

消火設備：ABC 粉末消火器

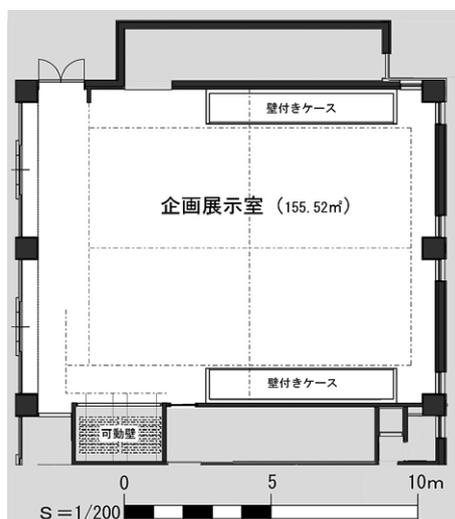
照明設備：照明器具

・LEDスポットライト（調光不可） 10台

・ハロゲンスポットライト（調光不可） 30台

・蛍光灯（UVカットタイプ・調光可） 8基

直射日光：外光遮断幕とUVカットフィルムを併用



企画展示室平面図

## (3) 盆栽庭園

盆栽庭園は、日本庭園の様式を取り入れた回遊式の常設展示場である。

庭園の展示台基礎部には、小松石や根府川石を使用し、重厚で落ち着いた雰囲気を与えている。

庭園南側に設置した五葉松「千代の松」専用の展示台は回転台を内蔵しており、同盆栽の生育に配慮している。

なお、夏季の日射を抑制するため、庭園東側及び南側一帯には寒冷紗を設置できる。

### 【沿革】

#### 平成24年7月

庭園中央部に池を造成。

#### 平成29年3月

設備の老朽化及び展示スペースの拡大のため、庭園東側に設定していた撮影エリアと庭園境界部の垣根及び撮影エリアの結界を新調。また、庭園中央から南側の植栽を撤去し、固定式懸崖台及び可動式展示台を設置。展示点数50点から60点に拡大。

#### 平成30年2月

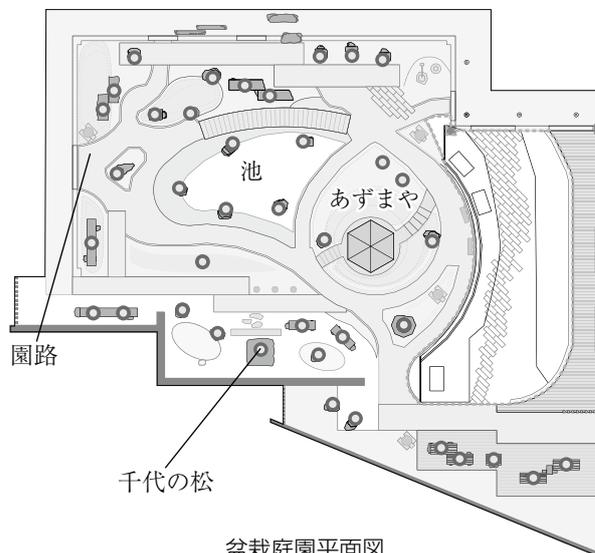
撮影エリアを南側のデッキ部分まで拡大。

#### 平成31年3月

庭園北側のつくばい部を整備し、ウッドデッキを新設。同ウッドデッキ及びあずまや内を撮影エリアとする。

#### 令和3年3月

撮影エリアを庭園全域に拡大。



盆栽庭園平面図



盆栽庭園

## 9 さいたま国際盆栽アカデミー 実習場・培養場

さいたま国際盆栽アカデミーの教材の培養管理をする場所であり、一部の実技講座の際は、実際に作業をする場所として活用している。

森鷗外の息子である森於菟の旧邸があった土地であり、豊かな自然が、かつての別荘地の面影を残している。

**所在地：**さいたま市北区盆栽町 322 番地 2

**敷地面積：**1281.98 m<sup>2</sup>

**竣工：**平成 29 年 3 月



盆栽アカデミー実習場・培養場

## 10 コレクションガイド (館内検索システム)

当館の所蔵品である、盆栽および盆栽関連資料の情報や写真をアーカイブしている収蔵品データベースのうち、公開項目として登録した情報に一般来館者がアクセスできる端末（コレクションガ

イド）を設置している。

**設置場所、台数**

コレクションギャラリー、1 台

**操作方法**

タッチパネル式になっており、画面に表示されたボタン等のアイコンや写真等を指で触れてページの進行および後退、あるいは拡大縮小等进行操作する。

**表示コンテンツ概要および内容細目**

- 1 コレクション選択場面
  - 盆栽／盆栽以外の資料を選択
- 2 盆栽
  - 2-1 五葉松
  - 2-2 松、真柏等
  - 2-3 雑木の四季
- 3 盆栽以外の資料
  - 3-1 盆器
  - 3-2 卓
  - 3-3 水石
  - 3-4 絵画資料
  - 3-5 歴史・民俗資料

コレクションガイドに表示されるコンテンツは、当館の収蔵品データベースとリンクしている。収蔵品データベースのうち、公開情報として登録した資料および情報、写真がコレクションガイドから閲覧可能となる。



コレクションガイド

## 11 映像コーナー

盆栽文化への導入部として、無料空間であるロビーで以下の3本の映像を繰り返し放映している。3面マルチ大型画面の迫力と、簡単な英語を付しており、外国人にも人気が高いコーナーである。

- 1) 「盆栽 樹木と人の小宇宙」 2分9秒
- 2) 「盆栽の美 四季のうつろい」 2分2秒
- 3) 「歴史編」 3分14秒



映像コーナー

## 12 情報コーナー

ロビー内に観光情報を案内するコーナーとして設置した。埼玉県とさいたま市の主な観光施設を地図パネルとし、また観光パンフレットを置き、来館者が手軽に観光情報を知ることができるスペースである。

また、インフォメーションガイドとして、「大宮盆栽美術館からのお知らせ」、「盆栽関連のお知らせ」、「盆栽園情報」、「さいたま市イベント情報」をロビーに設けられた2台のディスプレイに掲示している。表示項目はイベント名、開催期間、開催場所、案内文（180字以内）と、画像である。



情報コーナー

## 13 ウェブサイト

施設案内、コレクション、盆栽についてなどの基本情報を掲載しているページについては、日本語、英語（以上、開設時から）、中国語（簡体字、繁体字）、韓国・朝鮮語（以上、令和2年3月から）の4言語5通りからなるウェブサイトとしている。

令和5年3月には一部の改修を行い、トップページに各種ページとリンクした「イベントカレンダー」ページを追加して閲覧の利便性を向上させ、ニュースレター「ジンシャリ」（45号）の大幅改定に合わせて、ウェブ版「ジンシャリ」ページを追加し、デジタル化の向上を図った。

### サイトマップ

トップページ

—ニュース

—展覧会

—ワークショップ／イベント

—お知らせ

—ジンシャリ ※改訂

—休館日カレンダー

—イベントカレンダー ※新規

### 施設のご案内

—ごあいさつ

—館全体図・館内のご案内・サービス

### コレクション

—盆栽

—盆器

—水石

—卓

—絵画資料等

—歴史・民俗資料

### 盆栽について

—盆栽の見方

—樹種と形態

—盆栽の技

—大宮盆栽村について

### さいたま国際盆栽アカデミー

—目的・カリキュラム

— 修了者の活動紹介

— 新着情報

国際交流

— 盆栽関連施設・機関との提携

— 関連事業

— 多言語対応

— データで見る国際交流

アクセス・ご利用案内

リンク

お問い合わせ

## 14 盆美eガイド

来館者の多くが所有するスマートフォンにより、展示品の解説を閲覧、視聴することのできるコレクションガイド「盆美eガイド」を導入した。

本ガイドに掲載される情報は、当館ホームページの収蔵品紹介ページ「コレクション」に紐づけられており、スマートフォンのブラウザ用に設計された専用ページにおいて、各コレクション情報（資料の情報及び写真）を閲覧できるものである。

また、従来から導入していた有料貸出形式のガイド端末「音声ガイド」に内蔵されていた各コレクションの音声解説データを搭載しており、資料情報の閲覧のみではなく、音声解説を聴取することもできる（資料番号 A-001～A-107 の盆栽のみ）。

使用に際して、利用者は「盆美eガイド」に接続後、館内掲示の資料キャプションに記載された資料番号（アルファベット1文字+資料番号3桁）を入力するだけで資料情報を閲覧することができる。

このような簡易的な操作方法とともに、特別なアプリケーションを必要としないことから、利用者の負担を軽減することが可能であり、運用上においては「コレクション」の更新内容が同期されるため、更新作業の合理化も図られている。

### 運用開始日

令和3年3月12日（金）

### 対応 OS

iOS 及び Android

### 対応言語

日本語、英語、中国語（繁体字、簡体字）、韓国・朝鮮語

### 利用方法

・ 館内に掲示した QR コード又は URL から「盆美eガイド」に接続する。

URL : <https://www.bonsai-art-museum.jp/ja/eguide/>

・ 館内掲示の資料キャプションに記載された資料番号を入力する。

### 利用について

・ ロビー、ギャラリー、座敷飾りで音声データを聞く場合は、イヤホンの利用を必須とする。



検索画面

資料画面の一例

## II 展覧会事業

### 1 通常展

当館の通常展（※令和2年度まで「常設展示」と称したが、展示の実状を反映して「通常展」と呼び変えた。）は、屋内のコレクションギャラリー及び屋外の盆栽庭園における盆栽を主とした展示、並びに企画展示室における盆栽の歴史・文化に関するパネル展示により構成されている。

令和3年度から、ギャラリー及び庭園における盆栽の展示を「【季節の展示】盆栽展〈四季〉」と称し、企画展示室における盆栽の歴史・文化に関する展示を「【歴史と文化】盆栽クロニクルー年代記ー」と呼び、それぞれ通常展として開催した。

#### (1) 【季節の展示】盆栽展〈四季〉

コレクションギャラリーには、5台の専用ステージを設置し、続く座敷飾りの3室、また、ロビーの「季節の一鉢」を合わせ、全9席の盆栽等を常時展示し、盆栽については育成面を考慮して1週間ごとに展示替えを実施している。

盆栽庭園では、常時約60点の盆栽を展示しており、見ごろの季節や育成上の観点から、随時盆栽を移動している。

本展示では、四季折々に美しい姿へと変化する盆栽の魅力を多くの来館者に伝えるため、以下のようにひと月ごとに小テーマを設定して季節感を打ち出し、それぞれの時季に見ごろを迎える盆栽を選んで展示することで、「生きる芸術」と呼ばれる盆栽ならではの見どころを紹介した。

4月	芽吹き季節	10月	爽秋の風
5月	新緑の誘い	11月	深まる色
6月	枝先のしずく	12月	寒樹の美
7月	こぼれる陽光	1月	緑を寿ぐ
8月	緑陰の涼	2月	凜と咲く
9月	秋空を背に	3月	花告げる春

令和5年度の開催期間は30週に及ぶことから、季節感を重視した当館所蔵品をはじめ、大宮盆栽村の各盆栽園が所蔵する見ごろを迎える盆栽の借用や、未公開作品の展示、多彩な掛幅との取り合わせによる席飾りの趣向に工夫を凝らし、毎週新たな設えで来館者を迎えられるよう展示内容の充実に努めた。

また、第20週の展示では、(一社)日本盆栽協会との共催により、同協会が認定・登録する「貴重盆栽」を紹介する特別展示「貴重盆栽展」を開催した。

#### 出品作品一覧（ギャラリー・座敷飾り）

週	期 間	季節の一鉢	ギャラリー-1	ギャラリー-2	ギャラリー-3	ギャラリー-4	ギャラリー-5	真の間	行の間	草の間
1	4月7日(金) 4月12日(水)	小真弓 D-065 正方高卓	A-077 山もみじ D-018 紫檀算木机卓	B-280・281 瑞穂唐獅子牡丹文長方鉢 D-041 中透中卓	A-064 黒松 D-054 紫檀髹付机卓	C-034 賤機糸掛石 D-070 紫檀長方天拝卓	檀 19-179 紫檀平卓 添え セキレイ	A-007 真柏「寿雲」 D-052 紫檀喉付中卓 添え チョウジュバイ	姫しゃら 添え タンチョウソウ 清香園	羽団扇楓 D-033 斑竹網代平卓
2	4月14日(金) 4月19日(水)	斑入り定家 かずら D-065 正方高卓	A-120 いわしで D-070 紫檀長方天拝卓 添え アサギリ ソウとネジバナ の寄せ植え	B-218 色絵花鳥文八角鉢 D-015 紫檀喉付蕨紋猫足平卓	A-126 真柏 D-015 紫檀平卓 C-016 佐治川石	C-008 瀬田川石「春暁」 D-040 紫檀平卓	山もみじ D-082 紫檀中棧入六角 高卓 添え セキショウ	A-026 真柏 D-061 花梨髹板付中卓 付書院 フウチソウ 脇床 C-033 加茂川石 「龍淵」	A-048 けやき D-055 紫檀算木卓 E-081 君山尚湖「鶯啼揚 柳風」	山柿 D-008 紫檀天然彫
3	4月21日(金) 4月26日(水)	小葉の髄菜 D-070 紫檀長方天 拝卓	小楠 D-036 紫檀花輪型高卓	B-218 色絵花鳥文八角鉢 D-015 紫檀喉付蕨紋猫足平卓	A-131 赤松 19-179 紫檀平卓 C-059 佐治川石	C-008 瀬田川石「春暁」 D-040 紫檀平卓	山もみじ (紅枝垂れ) D-082 紫檀中棧入六角 高卓	A-018 五葉松「平安」 D-054 花梨髹板付机卓 E-076 足立泰道「松風」 脇床 ヒメシヤガ	定家かずら D-057 黒檀天然彫高卓 E-069 金山穆韶「好尚古 人心」	山もみじ (青枝垂れ) D-007 紫檀平卓
4	4月28日(金) 5月3日(水)	岩がらみ 門倉寄贈卓 (木瓜型)	A-050 初雪かずら D-041 中透中卓	B-154 染付龍山水文六角鉢 D-059 真塗二段高卓	A-061 五葉松 長板 D-054 紫檀髹板付机卓	C-067 古谷石 D-070 紫檀長方天拝卓	赤松 D-081 紫檀地板	A-040 五葉松 D-044 紫檀喉付机卓 E-174 山田宗敏「青松多 寿色」 脇床 アワモリショウマ とキンズヒキの寄せ植え	A-086 いちょう D-027 花梨中卓 E-080 秋吉則州「無事是 貴人」	アメリカ葛 D-075 紫檀高卓

5	5月4日(木) 5月5日(金)	さいたま国際盆栽アカデミー 修了生作品展	やまぼうし 芙蓉園	B-154 染付龍山水文六角鉢 D-059 真塗二段高卓	A-124 真柏 D-073 紫檀中卓 添え ユキノシタ	C-067 古谷石 D-070 紫檀長方天拝卓	A-129 山もみじ (青枝垂れ) D-018 紫檀算木机卓	A-069 黒松 D-012 天然彫高卓 E-083 秋吉則州「松樹千年翠」 脇床 アカバナショウマ	A-087 山もみじ「紅陵」 D-060 紫檀天平卓 E-040 安倍川石 茅舎石 C-038	小葉の髓菜 D-003 竹網代平卓
6	5月6日(木) 5月10日(水)	山法師 芙蓉園	小真弓 D-065 正方高卓	B-154 染付龍山水文六角鉢 D-059 真塗二段高卓	A-124 真柏 D-073 紫檀中卓 添え ユキノシタ	C-067 古谷石 D-070 紫檀長方天拝卓	A-129 山もみじ (青枝垂れ) D-018 紫檀算木机卓	A-069 黒松 D-012 天然彫高卓 E-083 秋吉則州「松樹千年翠」 脇床 アカバナショウマ	A-087 山もみじ「紅陵」 D-060 紫檀天平卓 E-040 安倍川石 茅舎石 C-038	小葉の髓菜 D-003 竹網代平卓
7	5月13日(金) 5月17日(水)	「世界盆栽の日」2024記念 特別展示 さつき (皇輝) 一般社団法人 日本盆栽協会	A-076 山もみじ D-073 紫檀中卓 添え ヒメフウチソウ、ダイモンジソウほかの 苔玉	C-063 加茂川石 D-004 紫檀竹節平卓	A-116 杜松 D-054 紫檀幕板付机卓	B-279 瑠璃袖琴高乘鯉牡丹文長方鉢 D-041 中透中卓	真弓 D-065 正方高卓 添え フイリユキノシタ	A-024 真柏 D-061 花梨幕板付机卓 E-076 秋吉則州「萬里一年翠」 脇床 アカバナショウマ	岩がらみ D-056 紫檀花梨高卓 E-075 福本積徳「薫風自南来」	檜 19-179 紫檀平卓
8	5月19日(金) 5月24日(水)	風知草 D-017 斑竹天玉壺丸卓	A-085 姉しゃら D-177 紫檀平卓	C-063 加茂川石 D-027 花梨中卓	黒松 D-006 玉壺天然彫 C-059 佐治川石	C-279 瑠璃袖琴高乘鯉牡丹文長方鉢 D-041 中透中卓	山もみじ D-082 紫檀中棧入六角高卓 添え ナチアワモリショウマ	A-089 杉 D-048 紫檀大平卓 E-078 秋吉則州「平常心是道」 脇床 フウチソウとゼンマイの寄せ植え	A-110 もみじ(清文) D-004 紫檀竹節平卓 E-097 作者不詳「日日は好日」	山もみじ (紅枝垂れ) D-074 紫檀猫足中卓
9	6月9日(金) 6月14日(水)	屋久島萩と箱根菊寄せ 植え D-080 紫檀斑竹貼 正方高卓	A-095 もみじ(獅子頭) D-044 紫檀喉付机卓	B-191 青磁養亀文六角鉢 D-041 中透中卓	A-127 檜 19-177 紫檀平卓	C-012 加茂川石 B-243 染付松竹梅図長方水盤 D-027 花梨中卓	アメリカ葛 D-075 紫檀高卓 C-059 佐治川石	A-022 真柏「北斎」 D-061 花梨幕板付中卓 付書院 舟	C-005 群峰鏡秀石 D-035 喉付平卓 E-041 下村圭堂「山水図」 付書院 ノバラ	枝垂れ柳 D-074 紫檀猫足中卓
10	6月16日(金) 6月21日(水)	夏藤 D-075 紫檀高卓	A-077 山もみじ D-018 紫檀算木机卓	B-191 青磁養亀文六角鉢 D-041 中透中卓	A-090 五葉松 長板 19-177 紫檀平卓	C-012 加茂川石 B-243 染付松竹梅図長方水盤 D-027 花梨中卓	檜 19-179 紫檀平卓 C-040 好間川石	A-028 津山檜 D-061 花梨幕板付中卓 E-176 平橋田中「青山流水太悠々」 脇床 ベニフウチソウ	C-066 宮田川石 B-317 斑紫銅辻透文楕円水盤 D-021 斑竹天花梨透付卓 E-070 孤峰智樂「行到水窮処」 付書院 ヤダケ	紫式部、金華山糸薄、斑入り藍草の寄せ植え D-034 花梨甲玉透中卓
11	6月23日(金) 6月28日(水)	風知草 D-017 斑竹天玉壺丸卓	A-122 いわしで D-055 紫檀算木卓	B-165 瑠璃袖染付柘榴文台石 D-059 真塗二段卓	A-126 真柏 D-015 紫檀平卓 C-016 佐治川石	C-007 紫貴船石 19-179 平卓 B-298 蕎麦袖楕円水盤	屋久島萩と箱根菊寄せ 植え D-082 紫檀中棧入六角高卓	A-069 五葉松 D-044 紫檀喉付机卓 E-083 秋吉則州「松樹千年翠」 脇床 キンミスヒキとワレモコウの寄せ植え	C-001 水石 D-027 花梨中卓 B-303 陶翠作「瑠璃長方水盤」 E-120 作者不詳「白鷺図」 付書院 ナチアワモリショウマ	ぶな 地板
12	7月1日(金) 7月6日(水)	小楕 D-056 紫檀花梨型高卓	A-124 真柏 D-073 紫檀中卓 C-037 富士川滝石	B-165 瑠璃袖染付柘榴文台石 D-059 真塗二段卓	A-047 もみじ(出狸々) 19-173 喉付藏文机卓	C-007 紫貴船石 19-179 平卓 B-298 蕎麦袖楕円水盤	赤松 長板 添え ヒメフウチソウとヌズビトハギ	A-069 黒松 D-012 天然彫高卓 E-077 秋吉則州「水上青々翠」 C-024 佐治川石「廬山」	C-001 水石 D-027 花梨中卓 B-303 陶翠作「瑠璃長方水盤」 E-120 作者不詳「白鷺図」 付書院 ショウタイソウ	金明竹 地板
13	7月7日(金) 7月12日(水)	棚空木 D-014 紫檀細工古鏡型中卓	A-129 山もみじ (青枝垂れ) D-018 紫檀算木机卓	B-234 瑠璃袖雲龍文丸鉢 D-059 真塗二段卓	A-061 五葉松 D-021 斑竹天花梨透付卓 B-317 斑紫銅辻透文楕円水盤	B-170 染付朝顔文丸鉢 D-041 中透中卓	小真弓 D-065 正方高卓	C-069 古谷石 D-049 紫檀輪飾付机卓 E-079 秋吉則州「萬里一年翠」 脇床 チョウジュバイ	A-008 赤松「掃去来」 D-074 紫檀竹節平卓 E-074 宿寶宗宇「知足」 付書院 C-024 佐治川石「廬山」	夏藤 D-075 紫檀高卓
14	7月14日(金) 7月19日(水)	紫式部寄せ 植え D-034 花梨甲玉透中卓	A-050 初雪かずら D-041 中透中卓	B-234 瑠璃袖雲龍文丸鉢 D-059 真塗二段卓	A-025 真柏 D-076 紫檀卓	C-060 瀬田川石 B-303 瑠璃袖長方水盤 D-027 花梨中卓	山もみじ D-082 紫檀中棧入六角高卓 添え ナチアワモリショウマ	C-069 古谷石 D-049 紫檀輪飾付机卓 E-079 秋吉則州「萬里一年翠」 脇床 キボウシ	A-038 五葉松 D-004 紫檀竹節平卓 E-069 金山穆韻「好尚心古人」	アメリカ葛 D-072 天櫻斑竹丸高卓
15	9月1日(金) 9月6日(水)	紫式部寄せ 植え D-034 花梨甲玉透中卓	A-076 山もみじ D-073 紫檀中卓 添え ホソバノギク	C-007 紫貴船石 B-298 蕎麦袖楕円水盤 D-019 紫檀喉付机卓	A-131 赤松 19-179 紫檀平卓 C-059 佐治川石	B-155 染付龍宝珠文丸鉢 D-070 紫檀長方天拝卓	小真弓 D-065 正方高卓	A-028 津山檜 D-061 花梨幕板付中卓 E-067 中原鄧州「白雲断処家山妙」 脇床 イトスキとナンパンギセル 付書院 C-009 瀬田川石	A-122 いわしで D-055 紫檀算木卓 E-041 下山圭堂「山水図」 添え ヒメタダ	アメリカ葛 D-072 天櫻斑竹丸高卓
16	9月22日(金) 9月27日(水)	藤袴 19-175 花梨平巻卓	A-077 山もみじ D-018 紫檀算木机卓	B-155 染付龍宝珠文丸鉢 D-070 紫檀長方天拝卓	A-127 檜 19-177 紫檀平卓	C-013 多摩川石「金剛」 19-173 喉付藏文机卓	班入り定家かずら D-065 正方高卓	A-040 五葉松 D-044 紫檀喉付机卓 E-072 足立泰道「松風」 脇床 チョウジュバイ	A-048 檜 D-055 紫檀算木卓 E-092 近藤一路「旅僧図」 添え ヒメタダ	紫式部寄せ植え D-034 花梨甲玉透中卓
17	9月29日(金) 10月4日(水)	小楕 D-056 紫檀花輪型高卓	A-021 黒松 D-073 紫檀中卓 添え セキショウ	B-155 染付龍宝珠文丸鉢 D-070 紫檀長方天拝卓	A-095 もみじ(獅子頭) D-044 紫檀喉付机卓	C-013 多摩川石「金剛」 19-173 喉付藏文机卓	檜 19-179 平卓 添え スズムシ	A-024 真柏 D-061 花梨幕板付机卓 E-076 秋吉則州「萬里一年翠」 脇床	A-047 もみじ(出狸々) D-004 紫檀竹節平卓 E-087 月櫻「三賢人」	真弓 D-082 紫檀中棧六角高卓
18	11月17日(金) 11月22日(水)	山楕 D-008 紫檀天然彫	A-076 山もみじ D-055 紫檀算木	B-137 白泥葡萄栗鼠図 長方鉢 19-179 平卓	A-025 真柏 D-076 紫檀卓	C-031 好間川石「蒼潤」 D-070 紫檀長方天拝卓	班入り定家かずら D-065 正方高卓 添え セキショウ	A-017 五葉松 D-051 調山写天拝卓 E-074 宿寶宗宇「知足」 脇床 ハゼ	A-111 梅もどき D-053 紫檀幕板付机卓 E-069 金山穆韻「好尚心人」	アメリカ葛 D-075 紫檀高卓

19	11月23日(木) 11月29日(水)	A-121 日本鎌柄 D-056 茶檜輪花型 高卓	A-047 もみじ (出猩々) D-004 茶檜竹節平卓	B-137 白泥葡萄栗鼠園 長方鉢 19-179 平卓	A-036 五葉松 D-054 茶檜幕板付机卓	C-031 好間川石「蒼潤」 D-070 茶檜長方天拝卓	真弓 D-065 正方高卓 添え マンネン グサ	A-001 五葉松「日暮し」 D-037 富貴卓(小川悠山) E-067 中原鄧州「白雲断 処家山妙」 脇床 長寿梅	A-125 寒椿 D-044 茶檜喉付机卓 E-093 渡辺祥英「月に薄」	山もみじ D-074 茶檜猫足中卓
日本盆栽協会特別展示「貴重盆栽展」(一般社団法人日本盆栽協会共催)										
20	12月1日(金) 12月6日(水)	五葉松「寿」 大柿清	さつき(旭の光) 久保俊昭	黒松 樋口一松	さつき(博多白) 新田浩三	唐楓 添え ヤブコウジ 多田博	ぶな 城内邦夫	赤松 脇床 ハラン 小林智	唐楓 添え ヤブコウジ 竹山浩	ぶな 添え ツメレンゲ 脇床 ゴウマツ 山本泰詩
21	12月8日(金) 12月13日(水)	小葉の髄菜 斐青園 19-175 花梨平巻卓	長寿梅 藤樹園	B-177 柿右衛門手草花 鉢 19-173 喉付蔽文机卓	A-127 檜 D-177 茶檜平卓	C-060 瀬田川石 D-059 真塗二段卓	西洋鎌柄 D-041 中透中卓	A-014 唐楓「早春の譜」 D-020 花梨竹節机卓 E-092 近藤一路「旅僧図」 付書院 セキショウ	アメリカカ D-075 茶檜高卓	A-31 五葉松 D-053 茶檜幕板付机卓 E-096 閑牧翁「今日無事」 脇床 リンドウと クマザサの寄せ植え
22	12月15日(金) 12月20日(水)	雪柳 19-175 花梨平巻卓	A-120 いわしで D-070 茶檜長方天拝卓 添え マンネン グサ	B-177 柿右衛門手草花 鉢 19-173 喉付蔽文机卓	五葉松 藤樹園 添え セキショ ウ	C-060 瀬田川石 D-059 真塗二段卓	班入り定家かず ら D-065 正方高卓	A-020 黒松「岩松庵」 D-061 花梨幕板付中卓 E-072 足立泰道「松風」 脇床 ユキヤナギ	A-085 姫しやら 19-177 茶檜平卓 E-087 月徳「三賢人」 付書院 チョウジュバイ、 コクマザサの寄せ植え	椿(初雁) D-026 天然影地板
23	12月22日(金) 12月27日(水)	八重紅花山 套子 清香園	A-077 もみじ D-018 茶檜算木机卓	B-190 船橋双鶴波濤文 六角鉢 D-059 真塗二段卓	A-064 黒松 D-054 茶檜幕付机卓	C-065 鞍馬石「宝船」 D-071 櫛下板付長方変わ り卓	椿 (ユーレタイト) D-065 正方高卓 添え セキショ ウ	A-028 津山檜 D-061 花梨幕付中卓 脇床 チョウジュバイ E-078 秋吉則州「平常心 是道」	A-122 いわしで D-055 茶檜算木卓 E-033 今尾景年「朧月」	真弓 D-065 正方高卓
24	1月5日(金) 12月14日(水)	A-128 八重紫紅梅 D-018 茶檜算木机 卓	A-095 もみじ(獅子頭) D-044 茶檜喉付机卓	B-190 船橋双鶴波濤文 六角鉢 D-059 真塗二段卓	A-124 真柏 D-073 茶檜中卓 添え セキショ ウ	C-065 鞍馬石「宝船」 D-071 櫛下板付長方変わ り卓	雪柳 19-175 花梨平巻卓	A-007 真柏「寿雲」 D-052 茶檜喉付中卓 脇床 ヒバイ	A-125 寒椿 D-044 茶檜喉付机卓 E-096 閑牧翁「今日無事」	錦糸南天 D-028 仙果付天然影地板
25	1月12日(金) 1月17日(水)	梔子 芙蓉園	A-123 唐楓 D-055 茶檜算木卓	C-035 瀬田川石 D-027 花梨中卓	五葉松 芙蓉園	B-099 紫泥花鳥文長方鉢 19-178 茶檜机卓	小葉の髄菜 D-070 茶檜長方天拝卓 添え マンネン グサ	A-018 五葉松「平安」 D-054 花梨幕板付机卓 E-083 秋吉則州「松樹千 年翠」 脇床 クマザサ、チョウ ジュバイ寄せ植え	A-080 野梅 19-177 茶檜平卓 E-098 西山観空「香潔」	錦糸南天(青棒) 地板 E-177 西澤笛畝 「天神人形図」短冊
26	1月19日(金) 1月24日(水)	寒桜 芙蓉園	A-076 もみじ D-073 茶檜中卓 添え セキショ ウ	C-035 瀬田川石 E-062 酒井抱一「松雪」 D-027 花梨中卓	真柏・楓 添え ヤブソテ ツ 藤樹園	B-099 紫泥花鳥文長方鉢 19-177 茶檜平卓	山香ばし D-074 茶檜猫足中卓 添え マンネン グサ	A-017 五葉松「うず潮」 D-051 潤山写天拝卓 E-074 宙寶宇宗「知足」 脇床 チョウジュバイと タツナミソウの寄せ植え	A-081 緋梅 D-055 茶檜算木卓 E-097 秋吉則州「無事是 貴人」 付書院 セキショウ	椿(港の曙) D-083 花梨地板 E-064 作者不明「元禄美 人系繰り」
27	1月26日(金) 1月31日(水)	椿 (出雲大社) D-097 高卓	あかしで 九霞園 D-004 花梨巻卓	C-057 安部川石「春近」 D-070 茶檜長方天拝卓	A-036 五葉松 D-054 茶檜幕板付机卓	B-200 赤絵金銀彩鳳文 丸鉢 19-173 喉付蔽文机卓	赤松 長板 添え タマリユ ウとコガネシダ 寄せ植え	A-024 真柏 D-061 花梨幕板付中卓 E-076 秋吉則州「萬里一 黍鉄」 脇床 クマザサとチョウ ジュバイ寄せ植え	A-099 野梅 19-176 花梨飾付高卓 E-117 高森碎巖「羅浮春 夢」	長寿梅 D-074 茶檜猫足中卓
28	2月2日(金) 2月7日(水)	A-078 野梅	A-046 もみじ D-004 茶檜竹節平卓	C-057 安部川石「春近」 D-070 茶檜長方天拝卓	真柏 斐青園	B-200 赤絵金銀彩鳳文 丸鉢 19-173 喉付蔽文机卓	野梅 D-074 茶檜猫足中卓 添え セキショ ウ	A-068 黒松 D-061 花梨幕板付卓 E-072 足立泰道「松風」 脇床 フクジュソウ、セ キショウ寄せ植え	A-014 唐楓「早春の賦」 D-020 花梨竹節机卓 地板 E-069 金山穆韻「好尚古 人心」	椿(雲竜) 地板
29	3月22日(金) 3月27日(水)	小葉の髄菜 D-070 茶檜長方天 拝卓	A-076 山もみじ D-055 茶檜算木卓	C-049 水石「神仙境」 19-179 茶檜平卓	A-124 真柏 D-073 茶檜中卓 添え タマリユ ウとコガネシダ寄 せ植え	B-030・031 粉彩花卉文丸鉢 D-041 潤山中透中卓	班入り定家かず ら D-065 正方高卓 添え オウゴン セキショウとシ ロバナヒナソウ 寄せ植え	A-017 五葉松 D-051 潤山写天拝卓 E-074 宙寶宇宗「知足」 脇床 チョウジュバイ	枝垂桜 D-002 茶檜飾付丸高卓 E-081 君山高湖「鶯啼揚 柳風」 付書院 セキショウ	雪柳 19-175 花梨平巻卓 E-177 西澤笛畝 「姉様人形図」短冊
30	3月29日(金) 4月3日(水)	真柏 藤樹園	枝垂れ桜 D-064 茶檜丸高卓	C-049 水石「神仙境」 19-179 茶檜平卓	A-064 黒松 D-054 茶檜幕付机卓	B-030・031 粉彩花卉文丸鉢 D-041 潤山中透中卓	A-096 楓 D-040 茶檜平卓	A-040 五葉松 D-044 茶檜喉付机卓 E-174 山田宗敏「青松多 寿色」 脇床 C-059 佐治川石 B-298 三瑋一陽作 蕎麦釉権門水鉢 19-175 花梨平巻卓	A-095 もみじ(獅子頭) D-067 櫛算木長方卓 E-033 今尾景年「朧月」	枝垂れ柳 D-074 茶檜猫足中卓

(2) 【歴史と文化】盆栽クロニクル—年代記—

本展は、古代中国からはじまり、昭和初年の大宮盆栽村の誕生、そして平成元年の第1回世界盆栽大会の開催に至るまでの盆栽の歴史を紹介する常設のパネル展示である。

パネルのレイアウトは編年体により、各年代の項目を視覚的に区切りつつ、パネル自体は会場の

壁面を一周する造作とした。歴史の一連の流れの中で、盆栽の移り変わりを一覧できるような展示デザインである。

以上のパネル展示を常設化した上で、会場中央部のスペースにおいて、盆栽以外の収蔵資料の展示や、大宮盆栽村100周年（令和7年度〔2025〕）に係る調査研究成果の一部を公開する特集展示を開催した。

出品資料一覧

第1期(前期) 4月22日(土)～5月24日(水) 収蔵資料特集展示

No	資料番号	作者・著編者・発行所	資料名	制作年	形状・点数
1	B-004	窯名不詳(中国)	青磁刻花芙蓉唐草文長方鉢	20世紀	隅入切立長方・1点
2	B-147	宜興窯	桃花泥長方鉢	中国・清時代	外縁長方・1点
源氏絵と季節の鉢植え					
3	E-137	三代歌川豊国	摸擬六佳撰 在原業平	弘化4年～嘉永5年(1847-1852)	大判錦絵・1点
4	E-144	豊原国周	現時五十四情 第四十二号 匂宮	明治17年(1884)8月	大判錦絵・1点
5	E-165	三代歌川豊国	末摘花の巻(修紫田舎源氏第10編より)	弘化4年～嘉永5年(1847-1852)	大判錦絵3枚続
6	E-167	三代歌川豊国	源氏絵(修紫田舎源氏第21編より)	弘化4年～嘉永5年(1847-1852)	大判錦絵3枚続
明治時代 盆栽培養の解説書					
7	F-115	三戸興彰、小栗嘉兵衛(校閲)、篆々堂(出版)	『盆栽手引種』	明治16年(1883)	典籍・1冊
8	F-117	岡本半溪、井口松之助(発行)、魁眞書楼(出版)	『草花木竹盆栽培養法 全』	明治27年(1894)	典籍・1冊
9	F-113	蘭欧仙史[井口松之助]、岡本半溪(校閲)、魁眞書楼(出版)	『草木図解盆栽培養全書』	明治29年(1896)	典籍・1冊
10	—	木部米吉、三銀水石園(出版)	『盆栽栽培法』	明治36年(1903)	典籍・1冊
11	F-118	武田交盛館(出版)	『草花盆栽培養法』	明治40年(1907)	典籍・1冊
12	F-112	井上正賀、大学館(出版)	『和洋草花と肥料 附盆栽の肥料』	明治44年(1911)	典籍・1冊

第1期(後期) 5月26日(金)～7月5日(水) 収蔵資料特集展示

No	資料番号	作者・著編者・発行所	資料名	制作年	形状・点数
1	B-021	窯名不詳(中国)	青花山水図切立切足長方水盤	20世紀	切立切足長方・1点
2	B-164	瀬戸焼	染付縞文深鉢	19世紀	外縁丸・1点
源氏絵と季節の鉢植え					
3	E-139	三代歌川豊国	二十四好今様美人 金魚好	文久3年(1863)12月	大判錦絵・1点
4	E-150	三代歌川豊国	其姿紫の写絵 廿一	弘化4年～嘉永5年(1847-1852)	大判錦絵・1点
5	E-156	落合芳幾	染ゆかた 夏のいそどり	文久2年(1862)4月	大判錦絵・1点
6	E-166	三代歌川豊国	わかむらさきの巻	安政元年(1854)	大判錦絵3枚続
江戸時代の園芸「奇品」趣味					
7	F-004	水野忠暁、大岡雲峰・関根雲停(画)	『草木錦葉集』	明治13(1880)年(初版:文政12年(1829))	典籍・4冊
8	F-007	長生舎主人(栗原信充)	『松葉蘭譜』	天保7年(1836)6月	典籍・1冊
9	F-005	篠常五郎	『万年青培養秘録』	明治18年(1885)4月	典籍・1冊
10	F-008	篠常五郎	『増訂万年青図譜』	明治33年(1900)4月	典籍・1冊

第2期 9月16日(土)～11月26日(日) 大宮盆栽村に関する収蔵資料特集展示

No	資料番号	作者・著編者・発行所	資料名	制作年	点数
1	B-343	九霞園(監修)、岡本明珍(製作)	九霞園鉢打鉢	昭和初期	1点
2	B-344	頼母木桂吉	高明山袋式槽打鉢	昭和7年～昭和15年(1932～1940)	1点
大宮盆栽村の景観—緑あふれる新しい村					
3	F-001	盆栽村組合	大宮名所盆栽村(観光案内リーフレット)	昭和10年(1935)	1枚
4	F-981	大日本盆栽奨励会	『盆栽』14巻10号「第一回盆栽村住宅地分譲」	昭和9年(1934)10月	1冊
5	F-981	大日本盆栽奨励会	『盆栽』16巻12号「大宮盆栽村土地」	昭和11年(1936)12月	1冊
6	F-114	東京土地株式会社	大宮盆栽園外分譲	昭和時代	1枚
7	F-985	森於菟(著)、森北書店(発行)	『解剖台に凭りて』	昭和18年(1943) 〔初版:昭和9年(1934)〕	1冊
大宮盆栽村の草分け—清大園と薫風園					
8	F-100	田口松旭	『美術盆栽図』	明治25年(1892)	3冊の内2冊
9	F-099	香樹園(編)、富里書店(発行)	『名家愛蔵盆栽奇石逸品集』	明治36年(1903)8月	1冊
10	—	—	古写真(清大園の園場)	明治後期～昭和初期	2枚
11	F-057	盆栽同好会	『盆栽雅報』第一号	明治39年(1906)5月	1冊
12	F-119	東洋園芸会	『東洋園芸界』四月の巻(創刊号)	明治41年(1908)5月	1冊
13	F-095	吉村悦治	『大典記念 盆栽逸品集』	昭和4年(1929)5月	2冊揃

## 2 企画展・特別展

コレクションギャラリー及び企画展示室における借用品や共催による展示、また、盆栽に関連する美術作品や歴史資料を用いたテーマ性のある展示を、開催規模により企画展又は特別展として開催している。

令和5年度は、以下に挙げるとおり企画展6回、特別展1回、連携展示1回を開催した。

### (1) さつき盆栽展

**会 期：**5月26日(金)～6月4日(日) 9日間  
**主 催：**さいたま市大宮盆栽美術館  
**協 力：**磯部緑園、株式会社柘の葉書房  
**会 場：**ロビー、コレクションギャラリー

**出品席数：**18席(1週9席)

#### 関連事業：

さつき盆栽デモンストレーション「花後の剪定」

日 時：6月4日(日) 14:00～15:30

講 師：磯部繁男氏(磯部緑園)

参加者数：63人

#### 印刷物：

ポスター B1判3枚、B2判50枚

チラシ A4判3,000枚

**入館者数：**1,624人(180人/1日)

**担 当：**田口文哉

#### 開催概要：

本展は、見ごろを迎えるさつき盆栽を特集した展覧会である。平成24年度から継続的に実施し、コロナ禍の令和2年度及び3年度の休止後、令和4年度は規模を縮小した展示とした経緯があったため、約4年ぶりの本格的な再開となった。

出品物は、引き続きさいたま市緑区のさつき盆栽園・磯部緑園から借用した。同園の磯部繁男氏は、プロのさつき盆栽家による展示会「皁樹展」における最高賞を最多受賞する第一人者であり、本展は磯部氏の定期的個展の性格も有している。

さつきの開花期としては比較的遅い時期の展覧会であるため、磯部氏による例年の難しい開花調整を経て、本展でも満開のさつきを展示することができ、

リピーターの多い本展への期待に応えることができた。

また、会期最終日の定番となっていた公開デモンストレーションも本年は開催に至り、ロビーにおいて展示中の満開のさつきを題材にして剪定技術が披露され、多くの観覧者を得た。なお、今回は磯部氏のほか、ご子息(長男・次男)が共に作業に従事する進行となり、磯部氏の解説にご子息が技術披露するなど、より充実した会となった。

平成29年度からはじめた剪定芽を挿し芽として持ち帰っていただくサービスについては、前回までの参加者が花を咲かせた状態で持ち寄ってくださり、リピーターの方との再会もうれしい一幕であった。生きる芸術だからこそその可能性ある試みを引き続き繋げていきたい。

#### 出品作品一覧 ※すべて磯部緑園所蔵

5月26日(金)～5月31日(水)	
場所	品種名
ロビー	新生
ギャラリー1	緋の司
ギャラリー2	白玲(添え) 菊姫
ギャラリー3	金采(添え) 白梅
ギャラリー4	光琳(添え) マンネングサ
ギャラリー5	大盃(添え) ヒメフウチソウ・ダイヤモンド寄せ植え
真の間	日光(脇床) 絹の舞(付書院) 難波錦
行の間	一生の春(添え) トキワシノブ
草の間	日光(添え) フイリフウチソウ
6月2日(金)～6月4日(日)	
場所	品種名
ロビー	寿光
ギャラリー1	緋緘
ギャラリー2	松波
ギャラリー3	さとう錦(添え) ヤクシマガボウシ
ギャラリー4	紫竜の舞
ギャラリー5	珍山(添え) 葵の輝
真の間	若恵比須(脇床) 大盃の光(付書院) 美貴の舞
行の間	朱艶(添え) 白扇の舞
草の間	薫風(添え) フイリギボウシ



ポスター

デモンストレーション

## 出品作品一覧

### (2) 山水涼景～水石の世界

**会 期**：7月21日(金)～8月30日(水) 36日間  
 前期 7月21日(金)～8月9日(水)  
 後期 8月11日(金)～8月30日(水)

**主 催**：さいたま市大宮盆栽美術館、  
 一般社団法人日本水石協会

**会 場**：ロビー、コレクションギャラリー

**出品席数**：18席(1週9席)

**関連事業**：

ギャラリートーク

日 時：①8月6日(日)、②8月19日(土)  
 いずれも 13:30～

講 師：①森前誠二氏(日本水石協会)  
 ②加藤崇寿氏(日本水石協会)

参加者数：①22人、②24人

**印刷物**：ポスター B1判3枚、B2判30枚  
 チラシ A4判2,500枚

**入館者数**：4,660人(129人/1日)

**担 当**：立石見雪、菅原千華

**開催概要**：

盆栽とともに歩んできた古い歴史を持つ「水石」の魅力を紹介する展覧会である。自然の石の形状に山や海辺の風景などを見出して鑑賞する水石は、長い歴史によって育まれた独自の美意識を持つ。小さな石の中に大自然を見出す姿勢は盆栽と共通するものである。

当館では毎年夏の時季に一般社団法人日本水石協会との共催で水石展を開催し、主に涼景を感じさせる山水景石や代表的な形状の作品を展示し、わかりやすく水石の世界を紹介してきた。

本年度は、水石界でも名の知られた名石が出品され、全体を通して、水を感じさせる涼やかな色彩の水盤飾りなど、季節感のある席飾りを展観できた。

関連事業については、新型コロナウイルス感染症対策の見直しを受けて、本年度は展示品の前で解説を行うギャラリートークを実施した。実際に展示品を見ながら解説することで、質感や肌合いといった水石ならではの味わいを参加者に伝えることができた。

前期 7月21日～8月9日		
場所	名称	所蔵者
ロビー	加茂川石 銘「仙崖」	石内勉
ギャラリー1	加茂川八瀬黒立真黒石	石塚喜貞
ギャラリー2	貴船石	嶋津直幸
ギャラリー3	佐治川石 神居古潭石 勝浦川石	本出小左衛門
ギャラリー4	伊予石	岡田隆平
ギャラリー5	加茂川石	寺内幸夫
真の間	瀬田川梨地石 銘「大和眺望」	松山秋英
行の間	貴船石 銘「霞菊」	山本哲史
草の間	佐治川石 銘「想念」	羽生雨竹亭
後期 8月11日～8月30日		
場所	名称	所蔵者
ロビー	加茂川石 銘「仙崖」	石内勉
ギャラリー1	孔雀菊花石	大川博行
ギャラリー2	神居古潭石	金原東憲
ギャラリー3	菊花石	クリストフ・クルツ
ギャラリー4	佐治川石 銘「幻舟」	サミ・アムドゥニ
ギャラリー5	丹波紅紫雲石	竹蓋雅幸
真の間	紫貴船石	大川功
行の間	八瀬真黒石 銘「沖の嶋」	大川昌子
草の間	畚下石 銘「虚無僧」	斎藤晃久



ポスター



加茂川石 銘「仙崖」

### (3) 夏休み子どもぼんさい美術館

会 期：7月22日(土)～8月30日(水) 35日間

主 催：さいたま市大宮盆栽美術館

会 場：企画展示室、講座室

出品点数：パネル17点 (B1)

盆栽玩具：144点 (22種類)

#### 展示構成：

- 1 盆栽ってなに？
- 2 いろいろな盆栽
- 3 盆栽のふしぎ
- 4 盆栽のむかしといま
- 5 盆栽をはじめてみよう
- 6 盆栽にさわってみよう

#### 関連事業：

- 1 夏休みワークショップ—こけ玉盆栽づくり
- 2 「未来のリーダーたちへ～世界で活躍するために日本の文化“盆栽”を学ぼう」

清水ちえり (盆栽博士ちゃん) の盆栽講座

日 時：8月19日(土) 14:00～15:00

講 師：清水ちえり氏

参加者数：13人

印刷物：ポスター B1判3枚、B2判35枚、

A3判4,300枚

チラシ A4判76,100枚

入館者数：4,585人 (131人/1日)

担 当：中村麗理、菅原千華

#### 開催概要：

小中学校の夏休み期間に、子ども向けに開催しているパネル形式の展覧会である。本展用に製作した「学習ノート」を希望者に配布し、パネルを参照してノートの質問に回答することで、盆栽の基本について学ぶことのできるプログラムである。学習ノートの問題に回答した小中学生への景品プレゼントと、さいたま市立漫画会館との連携を昨年度に引き続き行った。学習ノートの利用者数は593人であった。

展示品については、本展の目玉になりつつある「盆栽のおもちゃ」に新たに5種類(20点)を追加した。盆栽のおもちゃは、子どもや保護者を展覧会に惹きつける大きな役割を担うとともに、現代の日本におい

て、盆栽がどのような“広がり”を示しているのかを、視覚的に分かりやすく伝えるという意図もある。盆栽をめぐる社会の動向を把握する上で、今後も引き続き収集に努めていく予定である。

また、盆栽についての理解をより深めるために、展示室入口手前に実物の盆栽に触れる体験コーナーを常設した。

関連企画として、当館近隣の植竹小学校5年生による「盆栽ポスター」を展示した。同校から提供を受けたもので、2学期から学習する盆栽村に関する事前学習として制作されたポスターである。

関連事業について、夏休みワークショップは26頁に記載する。盆栽講座では、「盆栽博士ちゃん」として活躍中の清水ちえり氏が、盆栽の魅力についてのスライドトークや剪定体験を小中学生対象に行った。



ポスター



展示風景(全景)



展示風景(盆栽のおもちゃ)

#### (4) 白砂と石の風景－「盆石」の旅

会 期：9月8日(金)～9月20日(水) 12日間

主 催：さいたま市大宮盆栽美術館

協 力：一般財団法人細川流盆石

会 場：ロビー、コレクションギャラリー

出品席数：9席

関連事業：

##### 1 盆石制作のデモンストレーション

日 時：9月10日(日) 13:30～15:00

講 師：一般財団法人細川流盆石

参加者数：41人

##### 2 ギャラリートーク

日 時：9月16日(土) 13:30～

担 当：菅原千華

参加者数：16人

印刷物：ポスター B1判3枚、B2判35枚

チラシ A4判2,500枚

入館者数：2,157人(179人/1日)

担 当：菅原千華、立石見雪

開催概要：

本展は、日本の中世に端を発し、盆上の縮景を表現する伝統文化として、盆栽とも密接な関係を持つ「盆石」を特集したものである。

盆石とは、主に真塗の盆上に石を建て、白砂を撒いて、白鳥の羽根などを用いて水流や山岳等の文様を梳いて描き、山水の景観を縮景として表現する芸術である。

本展では、一般財団法人細川流盆石の協力を得て、9名の会員各氏に出展いただいた。ロビー、ギャラリーには盆石の一席飾り、座敷飾りでは当館の盆栽とともに展示した。伝書(手本)を元に制作した盆石だけでなく、現代の美的感覚を取り入れた作品や『利根川図誌』を題材とした連作に挑戦した作品も出品された。

また、普段あまり触れることの少ない盆石の世界を身近に感じてもらうため、一般財団法人細川流盆石の会員による盆石制作のデモンストレーション及びギャラリートークを実施した。盆石制作のデモンストレーションでは、新型コロナウイルス

感染症対策の見直しにより、令和元年度を最後に中止していた制作体験も実施することができた。

#### 出品作品一覧

場所	作品名	作者
ロビー	盆石 「月華」	家元嗣 永島三奈子
ギャラリー1	盆石 「雪」	清水玲子
ギャラリー2	盆石 「狩勝峠」	網中順子
ギャラリー3	盆石 「山粧う」	久保田聡
ギャラリー4	盆石 「晩夏の海」	酒井滋子
ギャラリー5	盆石 「波紋」	久保田聡
真の間	盆石 連作「利根川図誌」二	美多賀鼻千世
	①A-025 真柏、トキワシノブ ②A-054 黒松、ハゼ、E-071 千宗左「松樹千年翠」	
行の間	盆石 「おぼろ」	中根文江
	①めかるがや、E-097 作者不詳「日日是好日」 ②小橋、E-069 金山穆留「好尚古人心」	
草の間	盆石 連作「利根川図誌」一	佐野寿美・和田聖子
	①枝垂れ柳 ②山香ばし・野菊・笹・りんどうの寄せ植え	



ポスター



展示風景

(5) **さいたま国際芸術祭 2023 市民プロジェクト**  
**さいたま市文化施設～味変企画**  
**「市川平×角文平 ミクロとマクロ宇宙の旅」**

**会 期**：10月6日(金)～10月25日(水) 18日間  
**主 催**：さいたま市大宮盆栽美術館、  
 さいたま国際芸術祭実行委員会  
**会 場**：ロビー、コレクションギャラリー、  
 盆栽庭園、西門、盆栽テラス、駐車場

**開催概要**：

「さいたま国際芸術祭2023」(令和5年10月7日～12月10日)の市民プロジェクトとして、同プロジェクト・キュレーターの飯島浩二氏による「さいたま市文化施設～味変企画」を岩槻人形博物館、漫画会館、鉄道博物館とともに同時開催した。

同プロジェクトは、飯島キュレーターにより招聘された2名のアーティスト(市川平氏、角文平氏)による盆栽をはじめとした各館のコレクションをテーマとした作品を取り上げ、「市川平×角文平 ミクロとマクロ宇宙の旅」と題してそれぞれの施設にて展示するものである。

当館では、角文平氏の作品をロビー及びコレクションギャラリー、盆栽庭園を会場とした通常展「盆栽展〈四季〉」に織り交ぜて展開し、市川平氏の巨大な作品は、西門前、盆栽テラス、そして駐車場中央の州浜に設置した。

日本の伝統的な文化・芸術である盆栽を紹介する当館をはじめ、各博物館に現代アートという新たなスパイスが加わることで、常日頃の各館とはひと味変わった“味変”の魅力を来場者に楽しんでいただくという同プロジェクトの意図を汲み、当館では現代アートと盆栽の座敷飾りや、当館建築空間との本格的なコラボレーション展示を目指した。

展示設営では、双方の作品、空間の意味を考慮して作品を設置し、現代美術におけるインスタレーションのような、「場」を意識した展示となった。たしかに“味変”ということばがふさわしい展示内容となり、芸術祭を目的とした来場者に当館ならではの作品提示の在り方を示すことができた。

前回の芸術祭から開始した現代美術とのコラボレーションは、伝統的な盆栽の飾りに新たな視覚的にも豊かな意味作用を与えるものであり、引き続き現代美術との飾りの在り方の研究を進めていきたい。

**出品作品一覧**

10月6日(金)～10月25日(水)	
場所	名称
西門	市川平「バオバブプランテーション」
盆栽テラス	市川平「バオバブプランテーション」
駐車場	市川平「バオバブプランテーション」
10月6日(金)～10月11日(水)	
場所	名称
ロビー	角文平「鉄塔盆栽#01」、19-179紫檀平卓
ギャラリー1	A-112 姫りんご、D-041 潤山中透中卓、添え：角文平「野生の記憶一熊#20-1」
ギャラリー2	山もみじ、D-082 紫檀中棧入六角高卓、添え：角文平「鉄塔盆栽#07」
ギャラリー3	角文平「野生の記憶一熊#03-1」、添え：セキショウ、D-006 玉奎天然彫
ギャラリー4	藤袴、D-083 花梨地板、添え：角文平「鉄塔盆栽#08」
ギャラリー5	A-130 五葉松、D-004 紫檀竹節平卓、長板、添え：角文平「熊の森#02」
真の間	A-116 杜松、D-054 紫檀幕付机卓、E-078 秋吉則州「平常心是道」、脇床：角文平「球根#02」、付書院：角文平「球根#03」
行の間	小真弓、D-065 正方高卓、掛物：角文平「野生の記憶一熊の面-1」、付書院：角文平「野生の記憶一熊#07-1」
草の間	角文平「鉄塔盆栽#09」、D-074 紫檀猫足中卓、添え：チョウジュバイ
10月13日(金)～10月18日(水)	
場所	名称
ロビー	角文平「鉄塔盆栽#01」、19-179紫檀平卓
ギャラリー1	A-124 真柏、D-073 紫檀中卓、添え：角文平「野生の記憶一熊#20-1」
ギャラリー2	アメリカ蔦、D-075 紫檀高卓、添え：角文平「鉄塔盆栽#07」
ギャラリー3	角文平「野生の記憶一熊#03-1」、添え：ヒメタダ、D-006 玉奎天然彫
ギャラリー4	ワイルドオーツ、D-083 花梨地板、添え：角文平「鉄塔盆栽#08」
ギャラリー5	西洋鎌柄、D-041 中透中卓、添え：角文平「熊の森#02」
真の間	A-020 黒松「岩松庵」、D-061 花梨幕板付中卓、E-067 中原鄧州「白雲断処家山妙」、脇床：角文平「球根#02」、付書院：角文平「球根#03」
行の間	A-114 櫻、D-067 櫻算木長方卓、掛物：角文平「野生の記憶一熊の面-1」、付書院：角文平「野生の記憶一熊#07-1」
草の間	角文平「鉄塔盆栽#09」、D-074 紫檀猫足中卓、添え：ハゼ寄せ植え
10月20日(金)～10月25日(水)	
場所	名称
ロビー	角文平「鉄塔盆栽#01」、19-179紫檀平卓
ギャラリー1	A-129 山もみじ(青枝垂れ)、D-018 紫檀算木机卓、添え：角文平「野生の記憶一熊#20-1」
ギャラリー2	真弓、D-065 正方高卓、添え：角文平「鉄塔盆栽#07」
ギャラリー3	角文平「野生の記憶一熊#03-1」、添え：葉団扇、D-006 玉奎天然彫
ギャラリー4	赤松、D-083 花梨地板、添え：角文平「鉄塔盆栽#08」
ギャラリー5	紫式部寄せ植え、D-034 花梨甲玉透中卓、添え：角文平「熊の森#02」
真の間	A-062 五葉松、D-064 紫檀幕付机卓、E-078 秋吉則州「平常心是道」、脇床：角文平「球根#02」、付書院：角文平「球根#03」
行の間	小檜、D-056 紫檀花輪型高卓、掛物：角文平「野生の記憶一熊の面-1」、付書院：角文平「野生の記憶一熊#07-1」
草の間	角文平「鉄塔盆栽#09」、D-074 紫檀猫足中卓、添え：フナ



角文平作品との盆栽飾り



市川平「バオバブ」のテラスでの展示

(6) 第32回 作家展 (日本盆栽作家協会)

会 期：10月27日(金)～11月15日(水) 18日間

1期 10月27日～11月1日

2期 11月3日～11月8日

3期 11月10日～11月15日

主 催：さいたま市大宮盆栽美術館、  
一般社団法人日本盆栽作家協会

会 場：ロビー、コレクションギャラリー

出品席数：27席 (1週9席)

関連事業：

ギャラリートーク

日 時：11月5日(日) 13:30～

講 師：山田登美男氏 (同協会会長)

参加人数：25名

印 刷 物：ポスター B1判2枚、B2判93枚

チラシ A4判4,000枚

入館者数：4,683人 (260人/1日)

担 当：菅原千華、立石見雪

開催概要：

一般社団法人日本盆栽作家協会は、盆栽作家精神の高揚と研究・研鑽および盆栽作家の社会的地位の確立を目的として結成された協会である。当館では、同協会との共催により、平成23年度から毎年秋季に展覧会を開催してきた。

第32回展となる本展では、同協会所属の盆栽作家27名が仕立てた格調高い盆栽を展覧するとともに、作家のコメントを添えることで、作り手の熱い思いに触れられる展覧会となった。

また、同協会会長の山田登美男氏や同会を代表する小林國雄氏らによって、当館の座敷と調和した格式の高い席飾りが展観された。



真柏 銘「雲龍」(真の間)

出品作品一覧

1期		
場所	名称	所蔵者
ロビー	真柏	呉孟璋
ギャラリー1	野梅、コガネシダ	岩坪敏和
ギャラリー2	赤松、松尾芭蕉(白磁)	長尾憲輔
ギャラリー3	皐月(立山の舞)、西行法師(銅製)	植松紀夫
ギャラリー4	いわしで、鹿(朱銅製)	秋山実
ギャラリー5	皐月(星の輝)、ロウヤガキ	豊里友次
真の間	真柏 銘「雲龍」、 軸：角谷一圭「神妙無秘術」、 脇床：コガネシダ、付書院：静岳石(姿石)	小林國雄
行の間	柿、軸：荒木十畝「豊穰」、 付書院：加茂川石(茅舎石)	風間雄一
草の間	真柏、加茂川石	高橋正樹
2期		
場所	名称	所蔵者
ロビー	いわしで	米沢増雄
ギャラリー1	五葉松、ホウライシダ	上原幹夫
ギャラリー2	斑入り定家かずら、イワオモダカ・ タツナミノウ寄せ植え	矢内信幸
ギャラリー3	黒松、イワオモダカ・ コガネシダほか寄せ植え	今吉秀行
ギャラリー4	真柏、ハコネシダ	安藤芳広
ギャラリー5	五葉松、ノコンギク	五十嵐善巳
真の間	杜松、軸：平藤田中「和」、 脇床：おしどり(一刀彫)	山田登美男
行の間	赤松 銘「千代仁」、 軸：大森曹玄「老松雲閑」、 付書院：きりぎりす(銅製)	中臺翔太
草の間	長寿梅、掛軸：中谷光炎「観音図」	山田寅幸
2期		
場所	名称	所蔵者
ロビー	吾妻五葉松	阿部健一
ギャラリー1	真柏、長寿梅、コガネシダ	今井千春
ギャラリー2	五葉松、セキショウ	明石健夫
ギャラリー3	五葉松(那須娘)	須藤雨伯
ギャラリー4	五葉松、チョウジュバイ	松田恭治
ギャラリー5	黒松(寸檜)、イワオモダカ・ コガネシダ寄せ植え	篠原誠
真の間	柿(禪師丸)、脇床：コトネアスター・ コガネシダの寄せ植え	福館治
行の間	五葉松、軸：今尾景年「朧月」E-033、 付書院：セキショウ	野上和義
草の間	黒松	萩原功子



チラシ



柿(真の間)

## (7) 子どもたちに伝えたい さいたまの盆栽

会 期：12月9日(土)～令和6年1月24日(水) 35日間

主 催：さいたま市大宮盆栽美術館

会 場：企画展示室

出品点数：展示パネル 16 点、盆栽道具 27 点

展示構成：

- 1 まちたんけん～駅や美術館があるコース～
- 2 盆栽村のあゆみ
- 3 国際化する盆栽
- 4 盆栽をみる
- 5 盆栽をつくる
- 6 盆栽をつたえる

トピック 盆栽職人が使う道具

印刷物：ポスター B1判 2枚、B2判 3枚

チラシ A4判 4,000枚

入館者数：5,067人(144人/1日)

担 当：中村麗理、菅原千華

開催概要：

小中学生向けの冬季企画展示。小学校3年生が地域の特色や文化を学習する時期に合わせ、大宮盆栽村や盆栽の魅力を子ども向けに紹介するパネル形式の展覧会である。

盆栽村の歴史や盆栽の国際化、盆栽の鑑賞方法や育て方、職人の技術について子ども向けに解説したパネルを掲示した。また、「間違い探し」や「クロスワード」パネルを掲示し、子どもが遊しながら盆栽について学ぶことが出来るクイズコーナーを設けた。

関連企画として当館近隣のさいたま市立植竹小学校5年生が当館や盆栽村の見学、盆栽づくりを通して学んだことをまとめた盆栽新聞を掲示した。

展示品については、昨年度に引き続き、盆栽職人の技術を伝える盆栽の手入れ道具を展示した。子どもにも親しみやすい内容のキャプションと使用方法を説明する写真パネルを設置し、盆栽を仕立てる技術の奥深さを紹介した。



ポスター



展示風景 (全景)



展示風景 (盆栽道具)

## (8) 特別展 煎茶と盆栽～「盆栽」の夜明け

会 期：令和6年2月10日(土)～3月20日(水祝)  
35日間

主 催：さいたま市大宮盆栽美術館

会 場：コレクションギャラリー、企画展示室

出品席数：54席(盆栽の展示替えあり)

出品点数：44点

展示構成：企画展示室

プロローグ 煎茶と盆栽

第1章 新たな呼び名―「盆栽」

第2章 新たな居場所―座敷飾り

第3章 新たな装い―泥もの鉢

第4章 新たなかたち―文人木

エピローグ そして「盆栽」へ

関連事業：

### 1 特別展スライドトーク

「煎茶会図録から見る盆栽文化」

日 時：2月11日(日) 13:30～14:30

講 師：担当学芸員

参加者数：25人

### 2 特別展ギャラリートーク

日 時：①2月17日(土)、②3月3日(日)、  
③3月16日(日)いずれも13:30～

講 師：担当学芸員

参加者数：①26人、②30人、③25人

### 3 特別講演「煎茶の精神と文人文化」

日 時：3月10日(日) 14:00～16:00

講 師：工藤宏(元入間市博物館学芸員)

参加者数：26人

印刷物：

ポスター B1判5枚、B2判45枚、A3判4,236枚

チラシ A4判 5,000枚

入館者数：6,193人(176人/1日)

担 当：立石見雪、田口文哉、

中村慎太、小棚明生

開催概要：

本展は、江戸時代に園芸文化として流行した「鉢植え」から、近現代の「盆栽」へと転換していく“盆栽の夜明け”の時代について、幕末から明治時代に上方を中心に盛んに開催された煎茶会に焦点を当てて紹介するものである。

煎茶会は、中国文化に影響を受けた文人たちが煎茶を嗜む会で、やがて中国渡来の文物を飾り立て、盆栽も取り入れられるようになる。

コレクションギャラリーでは、文人たちが好んだ盆栽樹形や樹種、盆器といった、現代の盆栽文化

に見られる文人趣味を、盆栽展示を通して紹介した。座敷飾りでは、現代の盆栽飾りと近代に開催された盆栽陳列会の再現、煎茶会図録に見られる席飾りの再現の比較を通して、盆栽の飾り方の変遷がわかる展示とした。

企画展示室では、煎茶会の記録集として出版された煎茶会図録などの歴史資料を通して、文人文化の洗礼を受けて盆栽に起きた4つの変化について、各章に分けて紹介した。

第1章では、「盆栽」の呼称に着目し、江戸時代に一般的であった「鉢植え」等の和語から、漢語訳の「盆栽」へと変化する背景に、文人・頼山陽と彼の弟子筋に当たる文人たちの存在があり、大寄せと呼ばれる大規模な煎茶会を通して「盆栽」の言葉が定着していったことを紹介した。

第2章では、盆栽が飾られている場所に着目し、江戸時代以前は屋外に置かれていた盆栽が、中国鉢の鑑賞に導かれて屋内に取り込まれ、茶の湯における生け花の位置を得て、今日の「床の間に盆栽」という飾りが生まれた過程を追った。

第3章では盆栽鉢に着目し、現在松柏盆栽のスタンダードになっている「泥もの鉢」の使用について、文人たちが愛好した中国・宜興窯製の急須との関係から紹介した。

第4章では、盆栽樹形の一つである「文人木」が生まれた背景を、南画と比較しながら紹介した。

そして、エピローグでは、煎茶会から盆栽関係者による独立した盆栽陳列会が生まれ、煎茶文化から今日の盆栽文化へと脱皮していくことに触れ、締めくくりとした。

本展では、様々な地域や年代の煎茶会図録を分析することで、“盆栽の夜明け”がどのようなものであったか、新たな知見を得ることができた。今後、未収蔵の煎茶会図録の研究や異なる視点からの分析により、更なる解明が進むものと思われる。



ポスター



座敷飾り



企画展示室風景

## 出品作品一覧 (コレクションギャラリー)

週	期間	季節の一鉢	ギャラリー1	ギャラリー2	ギャラリー3	ギャラリー4	ギャラリー5	真の間	行の間	草の間
1	2月9日(金) 2月14日(水)	甲州野梅 芙蓉園	赤松 添え ユキノ シタほか 寄せ植え 芙蓉園	霊璧石 蔓青園 17-178 紫檀机卓	寒紅梅 清香園	B-001 青 磁陰刻花卉 文輪花鉢 19-173 紫 檀喉付職文 机卓	A-127 檜 19-177 紫檀平卓	床の間：向獅子香炉(清香園)、D-032 紫檀香炉卓、 赤松、D-026 天然彫地板、 オウゴンセキショウほか寄せ植え 掛軸：頼山陽 二行書 E-123 床脇：フイリセキショウほか寄せ植え 付書院：霊璧石(蔓青園)、硯、筆、墨(清香園)、筆架 煎茶道具(入間市立博物館)	A-058 五葉松「舞」 D-052 紫檀喉付中卓 E-083 秋吉朗州「松樹千年 翠」 付書院 チョウジュバイ	緋梅、オウゴンセキショウ、 ヒメクラマゴケ 獅子香炉(清香園)、 D-034 花梨甲玉透中卓 掛軸：作者不詳「秋園余香」 (清香園)
2	2月16日(金) 2月21日(水)	梅(思いの まま)	五葉松 清香園 添え ユキノ シタほか 寄せ植え チョウ ジュバイ	霊璧石 蔓青園 17-178 紫檀机卓	柘榴 (錦袍榴) 清香園	B-001 青 磁陰刻花卉 文輪花鉢 19-173 紫 檀喉付職文 机卓	黒松 D-040 紫檀平卓 添え セキ ショウ	床の間：向獅子香炉(清香園)、D-032 紫檀香炉卓、 社松、19-172 天拝中卓、 セキショウほか寄せ植え 床脇：シュンランほか寄せ植え 付書院：霊璧石(蔓青園)、硯、筆、墨(清香園)、筆架 掛軸：頼山陽 二行書 E-123 煎茶道具(入間市立博物館)	A-008 赤松「帰去来」 D-004 紫檀竹節平卓 E-074 宙寶字宗「知足」 C-024 佐治川石「叢山」	仏手柑(国営昭和記念公園)、 チョウジュバイ、ヒメクラマゴケ 獅子香炉(清香園)、 D-034 花梨甲玉透中卓 掛軸：作者不詳「秋園余香」 (清香園)
3	2月23日(金) 2月28日(水)	おかめ桜 19-179 紫檀平卓	赤松 藤樹園 添え イワ ダレヒツ ツバ	霊璧石 蔓青園 17-178 紫檀机卓	唐楓 芙蓉園 添え テル ナミソウ	B-001 青 磁陰刻花卉 文輪花鉢 19-173 紫 檀喉付職文 机卓	真柏 芙蓉園 添え スズ メノヤリと ユキノシタ 寄せ植え	床の間：向獅子香炉(清香園)、D-032 紫檀香炉卓、 社松、19-172 天拝中卓、 セキショウ寄せ植え 床脇：フイリセキショウ寄せ植え 付書院：霊璧石(蔓青園)、硯、筆、墨(清香園)、筆架 掛軸：頼山陽 二行書 E-123 煎茶道具(入間市立博物館)	A-098 寒桜 D-048 紫檀大平卓 E-033 今尾景年「臘月」	立真弓、アオミズゴケ、 シロバナチョウジュバイ 獅子香炉(清香園)、 D-034 花梨甲玉透中卓 掛軸：作者不詳「秋園余香」 (清香園)
4	3月1日(金) 3月6日(水)	椿(玉之浦) D-056 紫檀輪花型 高卓	赤松 芙蓉園 添え タン ボボほか寄 寄せ植え	霊璧石 蔓青園 17-178 紫檀机卓	仏手柑 国営昭和記 念公園 添え ヤマ モミジほか 寄せ植え	B-001 青 磁陰刻花卉 文輪花鉢 19-173 紫 檀喉付職文 机卓	A-127 檜 19-177 紫檀平卓	床の間：向獅子香炉(清香園)、D-032 紫檀香炉卓、 赤松、19-172 天拝中卓、 オウゴンセキショウほか寄せ植え 床脇：トサミズキ 付書院：霊璧石(蔓青園)、硯、筆、墨(清香園)、筆架 掛軸：頼山陽 二行書 E-123 煎茶道具(入間市立博物館)	A-019 五葉松「双鶴」 D-004 紫檀竹節平卓 ミヤケマイ「独楽 Being Happy for Myself」(藤井卓也)	椿(品種不明)、セキショウ、 シママルバヤナギ 獅子香炉(清香園)、 D-034 花梨甲玉透中卓 掛軸：作者不詳「秋園余香」 (清香園)
5	3月8日(金) 3月13日(水)	椿(永楽) D-041 中透中卓	五葉松 清香園 添え ホウ ライシダ	霊璧石 蔓青園 17-178 紫檀机卓	柘榴 (錦袍榴) 清香園	B-001 青 磁陰刻花卉 文輪花鉢 19-173 紫 檀喉付職文 机卓	黒松 D-040 紫檀平卓 添え マン ネングサ	床の間：向獅子香炉(清香園)、D-032 紫檀香炉卓、 社松、19-172 天拝中卓、 フイリセキショウほか寄せ植え 床脇：タンチョウソウ 付書院：霊璧石(蔓青園)、硯、筆、墨(清香園)、筆架 掛軸：頼山陽 二行書 E-123 煎茶道具(入間市立博物館)	A-014 唐楓「早春の譜」 D-020 花梨竹節机卓 真塗地板 ミヤケマイ「独楽 Being Happy for Myself」(藤井卓也) 付書院：オウゴンセキショウ ほか寄せ植え	しどみほか寄せ植え、 ユキノシタほか寄せ植え、 真塗地板 獅子香炉(清香園)、 D-034 花梨甲玉透中卓 掛軸：作者不詳「秋園余香」 (清香園)
6	3月15日(金) 3月20日(水)	枝垂桜 D-001 紫檀輪付輪 花高卓	赤松 D-074 紫檀鑑込中卓 添え セキ ショウ	霊璧石 蔓青園 17-178 紫檀机卓	山もみじ 芙蓉園 添え チリ メンカス ラ、ユキノ シタ	B-001 青 磁陰刻花卉 文輪花鉢 19-173 紫 檀喉付職文 机卓	真柏 芙蓉園	床の間：向獅子香炉(清香園)、D-032 紫檀香炉卓、 赤松、地板、ユキヤナギ 床脇：シュンランほか寄せ植え 付書院：霊璧石(蔓青園)、硯、筆、墨(清香園)、筆架 掛軸：頼山陽 二行書 E-123 煎茶道具(入間市立博物館)	A-130 五葉松 D-020 花梨竹節机卓 真塗地板 ミヤケマイ「独楽 Being Happy for Myself」(藤井卓也) 付書院：チョウジュバイ	仏手柑(国営昭和記念公園)、 セツカンノ、アサギリソウ 獅子香炉(清香園)、 D-034 花梨甲玉透中卓 掛軸：作者不詳「秋園余香」 (清香園)

## 出品資料一覧

No.	作者等	名称	形状・点数等	寸法(外寸)(縦×横)cm	制作年代	所蔵
フロアグ 煎茶と盆栽						
1	作者：水野年方	高樓迎客 煎茶之図	大判錦絵・1点(3枚紙)	左36.9×24.6 中36.9×24.6 右36.9×24.6	明治23年(1890)9月20日	大宮盆栽美術館
2	作者：小林清親	武蔵百景之内 隅田川水神森	大判錦絵・1点	37.3×24.9	明治17年(1884)11月7日	大宮盆栽美術館
3	作者：河鍋晩斎 歌川芳虎	書画五拾三駅 武蔵 川崎 弥次郎 喜太八	大判錦絵・1点	35.0×23.7	明治5年(1872)10月	大宮盆栽美術館
4	蔵梓：田能村直入	青湾茶会図録 天	冊子・1点	20.0×12.7	文久3年(1863)	大宮盆栽美術館
5	編集蔵梓：熊谷久兵衛	圓山勝会図録 巻ノ上・余巻	冊子・2点	14.1×9.7	明治9年(1876)5月	大宮盆栽美術館
第1章 新たな呼び名「盆栽」						
6	作者：陳浪子	秘伝花鏡 二	冊子・1点	22.8×16.0	文政12年(1829)補刻 (初版：宝暦5年(1755))	大宮盆栽美術館
7	著者：岩崎瀧園 発行：千鍾房・玉山堂	草木育種 上	冊子・1点	26.1×18.2	文化15年(1818)1月	大宮盆栽美術館
8	賛：頼山陽 画：賛：浦上春琴	仏手柑図	掛軸・1点(紙本着色)	172.0×107.5	江戸時代後期	中村廣良
9	蔵梓：田能村直入	青湾茶会図録 地	冊子・1点	20.0×12.7	文久3年(1863)	大宮盆栽美術館
10	著者兼発行：岩田嘉兵衛	東山茶会図録 山	冊子・1点	19.5×11.6	明治41年(1908)11月3日	大宮盆栽美術館
11	編集：加島信成 出版：小西平兵衛	分史翁事図録 元・亨	冊子・2点	18.0×11.8	明治16年(1883)12月	大宮盆栽美術館
12	著者兼発行：黒川新三郎	清賞余録 乾	冊子・1点	25.5×14.5	明治31年(1898)6月4日	大宮盆栽美術館
第2章 新たな居場所一座歌飾り						
13	作者：田能村直入	茶会図巻	卷子・1点	26.0×67.10	明治7年(1874)	入間市博物館
14	作者：田能村直入	青湾茶会図巻	卷子・1点	58.40×31.0	元治元年(1864)	大宮盆栽美術館
15	蔵梓：田能村直入	青湾茶会図録 人	冊子・1点	20.0×12.7	文久3年(1863)	大宮盆栽美術館
16	編集蔵梓：山中吉郎兵衛	青湾茗醴図誌 瑞・草	冊子・2点	17.2×11.2	明治9年(1876)1月11日	大宮盆栽美術館
17	作者：阪田圭蔵 発行：松山興兵衛	豫章堂茗醴図録	冊子・1点	18.0×11.7	明治42年(1909)12月23日	大宮盆栽美術館
18	編集蔵梓：熊谷久兵衛	圓山勝会図録 巻ノ下	冊子・1点	14.1×9.7	明治9年(1876)5月	大宮盆栽美術館
19	編集：田能村順之助 出版：前田文進堂	直入翁寿筵図録 地・人	冊子・2点	16.2×10.5	明治14年(1881)5月	大宮盆栽美術館
20	編集兼発行：越智武一	亦復一染茶会図録	冊子・1点	22.0×13.0	大正7年(1918)9月20日	大宮盆栽美術館
21	編集兼出版：杉田三郎助	雲烟供養図録 首巻・下巻	冊子・2点	19.3×11.5	明治13年(1880)11月	大宮盆栽美術館
22	編集兼発行：奥田天明	直入居士薦事図録 下	冊子・1点	19.0×12.2	明治44年(1911)11月5日	大宮盆栽美術館
23	編集蔵梓：山中吉郎兵衛	青湾茗醴図誌 魁	冊子・1点	17.2×11.2	明治9年(1876)1月11日	大宮盆栽美術館
24	編集：加島信成 出版：小西平兵衛	分史翁事図録 利	冊子・1点	18.0×11.8	明治16年(1883)12月	大宮盆栽美術館
25	作者：柳川善左衛門	雨竹居士薦筵図誌	冊子・2点	19.3×11.7	大正2年(1913)2月	大宮盆栽美術館
26	編集：山中馨堂堂 発行：山中吉郎兵衛	角山簪筵翁薦事図録 瑞	冊子・1点	22.0×15.0	大正11年(1922)6月1日	大宮盆栽美術館
27	作者：春風社	柳崎清賞	冊子・1点	19.0×11.5	明治20年(1887)	大宮盆栽美術館
28	編集出版：松井廉	楓川追薦録 夏	冊子・1点	19.3×11.7	大正5年(1916)11月21日	大宮盆栽美術館
第3章 新たな装い—泥もの鉢						
29	作者：三代 歌川豊国	名妓三十六佳撰 瀧川	大判錦絵・1枚	35.3×24.0	文久元年(1861)12月	大宮盆栽美術館
30	製作：宜興堂「孟臣」	紫泥急須	急須・1点	高37.6	不詳	入間市博物館
31	製作：宜興堂	朱泥陽刺菊鳥文長方鉢	盆器・1点	33.9×53.5	清代(1644-1912)	大宮盆栽美術館
32	編集兼発行：大山友蔵	共衆茶会図録	冊子・1点	16.4×9.7	明治35年(1902)8月1日	入間市博物館
33	作者：水谷鶴松	竹荘茶醴図録	冊子・1点	19.7×11.7	明治32年(1899)	大宮盆栽美術館
34	製作：宜興堂「万豊順記」	紫泥急須	急須・1点	高26.1	不詳	入間市博物館
35	製作：宜興堂	烏泥山水文枱円鉢	盆器・1点	33.3×49.3	清代(1644-1912)	大宮盆栽美術館
36	製作：宜興堂	白泥龍文正方鉢	盆器・1点	24.2×23.4	光緒33年(1907)	大宮盆栽美術館
第4章 新たなかたち—文人木						
37	翻刻：前川宗七	芥子園画伝 初集第2冊	冊子・1点	19.5×12.5	明治14年(1881)2月15日編版	芙蓉園
38	作者：田口松旭	美術盆栽図	冊子・1点	21.8×13.8	明治25年(1892)	大宮盆栽美術館
39	賛：高橋泥舟 画：奥原晴湖ほか4名	盆栽図寄書	掛軸・1点(紙本淡彩)	204.0×67.0	明治時代(1868-1912)	大宮盆栽美術館
40	作者：奥原晴湖	盆栽図画帖	画帖・1点(紙本着色)	17.8×23.5	明治9年(1876)	大宮盆栽美術館
エピソード						
41	発行：大阪園芸会	華 2年3集	冊子・1点	22.0×14.6	明治41年(1908)3月1日	大宮盆栽美術館
42	発行：大阪園芸会	華 4年2集	冊子・1点	22.0×14.6	明治43年(1910)2月15日	大宮盆栽美術館
43	著作兼発行：木曾庄七	盆栽瓶花聚楽会図録	冊子・2点	25.2×14.5	明治36年(1903)12月30日	大宮盆栽美術館
44	発行：盆栽同好会	盆栽雅報 第29号	冊子・1点	25.9×17.8	明治41年(1908)9月10日	大宮盆栽美術館

### Ⅲ 普及事業

盆栽文化の普及を目的とした事業として、当館では月例の講座をはじめ、展示やイベント等に合わせた不定期の特別講座や各種の依頼を受けて実施する出張講座、学校との連携事業、その他イベント事業を数多く開催し、そのほとんどの事業においては当館のボランティア組織である「ミュージアム・サポーター」の助力を得て実施している。

令和5年度は、令和5年1月の新型コロナウイルス感染症対策の見直しを受けた対面講座や体験活動の復活、定員増員の方針を引き継ぎ、同年5月の同感染症5類移行を踏まえ、概ねすべての事業をコロナ禍以前の方法により実施することになった。

また、令和元年度まで実施した「盆栽相談デー」について、実施方法を改めて令和5年11月から再開した。

コロナ禍において実施することになったオンラインなどによる活動について、時間と場所にとらわれない伝達・受講のメリットは認めるところではあるが、美術館という場において伝え手と受け手が対面して活動を行うことが、より能動的な交流を促進すること、そして、受講者の満足度を高めることに活動再開を通して強く気づかされることになった。

コロナ禍で培われたオンラインの伝達方法は、講演会の配信をはじめ、上記のメリットを生かす事業形態において継続すべきだと考える。

#### 1 定例講座

##### (1) 盆栽ワークショップ —はじめての盆栽づくり

対 象：一般の方

日 時：4月～令和6年3月

毎月第3日曜日 14:00～15:30

実施数：12回

会 場：講座室

参加費：3,000円

参加者数(定員)：95人(各8人)

講 師：大宮盆栽協同組合

担 当：立石見雪、中村麗理

開催概要：

本講座は、盆栽文化の普及を目的として、初心者向けに開催している。

新型コロナウイルス感染症対策が見直されたことに伴い、6月以降は講師や当館ボランティア組織「ミュージアム・サポーター」のスタッフが受講者の近くで指導することができるようになった。このため、講師の手元作業の拡大映像の表示を取りやめた。参加者の近くで講師やスタッフが指導することによって、1人1人の作業状況やニーズに合わせた対応が可能となった。

なお、この受講が美術館への来館と大宮盆栽村訪問のきっかけとなるよう、講座内容には美術館の展示や盆栽園の紹介を加えるとともに、大宮盆栽協同組合から講師を迎えて実施した。



講座風景



講師による指導



サポーターによる指導

#### 盆栽ワークショップ一覧

No	開催日	素材	講師	参加者数(人)
1	4月16日	にれけやき	九霞園	7
2	5月21日	にれけやき	蔓青園	7
3	6月18日	真柏	蔓青園	9
4	7月16日	真柏	松雪園	6
5	8月20日	真柏	松雪園	9
6	9月17日	長寿梅	藤樹園	7
7	10月15日	長寿梅	藤樹園	8
8	11月18日	長寿梅	清香園	9
9	12月17日	御殿場桜	芙蓉園	8
10	令和5年 1月21日	御殿場桜	芙蓉園	10
11	2月18日	御殿場桜	清香園	7
12	3月17日	はうちわかえで	九霞園	8

合計 95人

※同伴者の人数含む

(2) 子ども向けワークショップ  
ーはじめての盆栽づくり

対 象：小中学生  
日 時：4月～令和6年3月（7月、8月除く）  
毎月第3日曜日 10:00～11:30

実施数：10回  
会 場：講座室  
参加費：3,000円  
参加者数（定員）：173人（各8組）  
講 師：大宮盆栽協同組合  
担 当：立石見雪、中村麗理

開催概要：

本講座は、盆栽文化の普及を目的として、小中学生とその保護者向けに開催している。

新型コロナウイルス感染症対策が見直されたことに伴い、6月以降は講師や当館ボランティア組織「ミュージアム・サポーター」のスタッフが受講者の近くで指導することができるようになった。このため、講師の手元作業の拡大映像の表示を取りやめた。参加者の近くで講師やスタッフが指導することによって、1人1人の作業状況やニーズに合わせた対応が可能となった。

なお、この受講が美術館への来館と大宮盆栽村訪問のきっかけとなるよう、講座内容には美術館の展示や盆栽園の紹介を加えるとともに、大宮盆栽協同組合から講師を迎えて実施した。



参加者の作業の様子



講師による指導



サポーターによる補助

子ども向けワークショップ一覧

No	開催日	素材	講師	参加組数(組)	参加者数(人)
1	4月16日	にれけやき	九霞園	8	16
2	5月21日	にれけやき	蔓青園	8	17
3	6月18日	真柏	蔓青園	8	18
4	9月17日	長寿梅	藤樹園	6	14
5	10月15日	長寿梅	藤樹園	8	18
6	11月19日	長寿梅	清香園	8	18
7	12月17日	御殿場桜	芙蓉園	8	17
8	令和5年1月21日	御殿場桜	芙蓉園	8	20
9	2月18日	御殿場桜	清香園	7	17
10	3月17日	ほうちわかえで	九霞園	8	18
合計				77組	173人

(3) 盆栽実技

対 象：一般の方  
日 時：4月～令和6年3月  
毎月第4土曜日 13:30～14:30

実施数：12回  
会 場：講座室  
参加費：無料  
参加者数（定員）：250人(4月:24人、5月以降:各30人)  
講 師：大宮盆栽協同組合  
担 当：田口文哉

開催概要：

大宮盆栽協同組合から講師を迎え、季節に合った盆栽の手入れ方法や知識を実技を交えながら講義いただいた。

なお、5月以降は定員を30人に増員し、当日整理券配布方式を改めて先着順とした。また、受講者席を講師により近づけて配置することにより、手元カメラ映像のスクリーン投影を取りやめることとした。



講座風景

盆栽実技一覧

No	開催日	講師	参加者数(人)
1	4月22日	清香園	21
2	5月27日	九霞園	25
3	6月24日	九霞園	30
4	7月22日	蔓青園	14
5	8月26日	蔓青園	30
6	9月23日	松雪園	17
7	10月24日	松雪園	20
8	11月25日	藤樹園	14
9	12月23日	藤樹園	16
10	令和6年1月27日	芙蓉園	29
11	2月24日	芙蓉園	16
12	3月23日	清香園	18

合計 250人

#### (4) 盆栽相談デー

対 象：どなたでも

日 時：11月～令和6年3月

毎月第4日曜日 13:30～15:30

実施数：5回

会 場：講座室

参加費：無料

参加者数(定員)：36人(各9人)

講 師：大宮盆栽協同組合

担 当：立石見雪、中村麗理

#### 開催概要：

令和4年度は、特別講座として初心者向けの植え替え作業に特化した「盆栽植え替えデー」を開催したが、植え替え以外の技術指導や管理指導を希望する声があったことから、令和元年度まで実施した「盆栽相談デー」に名称を戻し、改めて盆栽のあらゆる悩みを相談できる月例講座として再開した。

参加者は自分が育てている盆栽を持参し、盆栽に合わせた技術指導を受け、必要に応じて剪定や針金掛け、植え替え作業を行った。参加者の持参した盆栽は、当館ワークショップ等の講座で仕立てた盆栽以外にも、盆栽園が実施した体験教室等で仕立てた盆栽など、樹種は様々で、相談内容は整姿整形方法や剪定方法、培養管理方法など多岐にわたっていた。

講師による指導のもとに参加者が作業をする際には、当館ボランティア組織「ミュージアム・サポーター」が補助を行った。剪定や針金掛け、植え替えについては、研修やさいたま国際盆栽アカデミーで得た知識と技術を活用する場面が見られた。



講師による指導



サポーターによる補助

#### (5) ギャラリートーク

盆栽等の鑑賞の基本や出品物の見どころを紹介し、来館者のより深い出品物及び盆栽文化への理解を育むため、毎月第1日曜及び第3土曜に、当館職員または企画展等の出品者による解説会を開催している。本年度は、4月まで新型コロナウイルス感染症対策を踏まえたスライドトーク（同トーク動画をYoutubeにて限定配信するハイブリッド型）を継続して実施し、5月以降は4年ぶりに館内展示会場を参加者とともに巡りながら解説を行うギャラリートークを開催した。

#### ギャラリートーク一覧

No	開催日	曜日	時間	名称	講師 (敬称略)	参加者数 (人)
1	4月2日	日	13:30～14:00	スライドトーク	田口文哉	12
2	4月15日	土	13:30～14:00	スライドトーク	田口文哉	20
3	5月7日	日	13:30～14:10	ギャラリートーク	田口文哉	12
4	5月20日	土	13:30～14:20	ギャラリートーク	田口文哉	28
5	6月17日	土	13:30～14:00	ギャラリートーク	立石見雪	23
6	7月2日	日	13:30～14:00	ギャラリートーク	菅原千華	18
7	7月15日	土	13:30～14:00	ギャラリートーク	立石見雪	23
8	8月6日	日	13:30～14:00	企画展「山水涼景」 ギャラリートーク	森前誠二 (日本水石協会)	22
9	8月19日	土	13:30～14:00	企画展「山水涼景」 ギャラリートーク	加藤崇寿 (日本水石協会)	24
10	9月3日	日	13:30～14:30	ギャラリートーク	田口文哉	13
11	9月16日	土	13:30～14:00	企画展「白砂と石の風景」 ギャラリートーク	菅原千華	16
12	10月1日	日	13:30～14:15	ギャラリートーク	立石見雪	14
13	10月21日	土	13:30～14:00	ギャラリートーク	菅原千華	13
14	11月5日	日	13:30～14:00	企画展「作家展」 ギャラリートーク	山田登美男 (日本盆栽作家協会)	25
15	11月18日	土	13:30～14:00	ギャラリートーク	中村麗理	25
16	12月3日	日	13:30～14:30	ギャラリートーク	田口文哉	25
17	12月16日	土	13:30～14:30	ギャラリートーク	菅原千華	22
18	1月7日	日	13:30～14:00	ギャラリートーク	立石見雪	18
19	1月20日	土	13:30～14:00	ギャラリートーク	菅原千華	20
20	2月4日	日	13:30～14:30	ギャラリートーク	田口文哉	22
21	2月17日	土	13:30～15:00	特別展「煎茶と盆栽」 ギャラリートーク	立石見雪	26
22	3月3日	日	13:30～15:00	特別展「煎茶と盆栽」 ギャラリートーク	立石見雪	30
23	3月16日	土	13:30～15:00	特別展「煎茶と盆栽」 ギャラリートーク	立石見雪	25

合計 476人

## 2 特別講座

### (1) 夏休みワークショップ —こけ玉盆栽づくり

対 象：小中学生

日 時：7月29日(土)～7月31日(月)

10:00～11:00、14:00～15:00

8月4日(金)～8月7日(月)

14:00～15:00

実施数：10回

会 場：講座室

参加費：2,000円

参加者数(定員)：203人(各10組)

講 師：大宮盆栽協同組合

担 当：中村麗理、立石見雪

開催概要：

さいたま市内小学校の夏休み期間に合わせて、盆栽文化の普及を目的とした小中学生を対象の夏休みワークショップを開催した。本講座は定員以上の申込みがある人気講座である。

実施にあたり、小中学生が簡単にこけ玉盆栽づくりができるよう、使用する材料や道具類、指導方法について工夫をし、講座時間を昨年度の90分から60分に短縮して行った。これにより、小学校低学年でも、最後まで集中してこけ玉盆栽を作る

ことができた。

また、保護者の見学や撮影を自由とし、保護者が作成の場に立ち合い、講師による培養管理の解説も聞くことで、今後の育て方についての理解を深めてもらうよう工夫した。



講座風景

### 夏休みワークショップ一覧

No	開催日	曜日	時間	講師	参加組数(組)	参加者数(人)
1	7月29日	土	10:00～11:00	藤樹園	10	23
2	7月29日	土	14:00～15:00	藤樹園	9	21
3	7月30日	日	10:00～11:00	藤樹園	10	24
4	7月30日	日	14:00～15:00	藤樹園	10	22
5	7月31日	月	10:00～11:00	藤樹園	8	16
6	7月31日	月	14:00～15:00	藤樹園	9	17
7	8月4日	金	14:00～15:00	藤樹園	9	21
8	8月5日	土	14:00～15:00	藤樹園	9	20
9	8月6日	日	14:00～15:00	藤樹園	10	20
10	8月7日	月	14:00～15:00	藤樹園	9	19
合計					93組	203人

### (2) 出張講座等

市内外の各種団体の依頼を受け、当館あるいは外部機関において、下記のとおり12回の講座を実施した。

#### 盆栽文化に関する出講一覧

No	開催日	曜日	時間	講座・イベント名称	講師(敬称略)	会場	参加者数(人)
1	5月21日	日	10:00～11:00	春風盆栽展ギャラリーツアー	田口文哉	国営昭和記念公園	30
2	5月21日	日	13:00～14:00	春風盆栽展ギャラリーツアー	田口文哉	国営昭和記念公園	30
3	6月7日	水	14:00～15:30	出張講座「盆栽を楽しむ」	田口文哉	七里公民館	24
4	6月8日	木	10:00～11:30	出張講座「盆栽の歴史」	田口文哉	針ヶ谷公民館	36
5	9月26日	火	11:00～11:50	埼玉県立越谷西高等学校「美術Ⅲ」	田口文哉	埼玉県立越谷西高等学校	17
6	10月8日	日	10:00～12:00	子ども未来カレッジ～やっぱり和室っておもしろい	田口文哉	大久保東公民館	10
7	11月4日	土	14:00～16:00	BONSAI-宇宙を画く-トークイベント	奥ノ木信夫川口市長、喜楽園飯村靖史、田口文哉	川口市立アートギャラリー・アトリア	40
8	11月5日	日	10:00～、13:30～	北区民まつりワークショップ コケ玉盆栽づくり	ミュージアム・サポーター、田口文哉	見沼グリーンセンター	30
9	11月11日	土	13:30～15:30	連続講座・江戸庶民の遊びと楽しみ「浮世絵で楽しむ江戸の盆栽文化」	田口文哉	中山道広重美術館	28
10	11月25日	土	10:30～12:00、13:00～15:00	2023年度東京大学田無演習林公開講座「松の世界」(後期) 第5講「盆栽鑑賞の基本、松盆栽の文化史」、「針金整枝の実演、切枝への針金掛け体験」	田口文哉、中村慎太	東京大学田無演習林セミナーハウス講義室	8
11	3月1日	金	13:30～14:30	BONSAIの町大宮ミニ盆栽教室	田口文哉	ソニックシティ	50
12	3月24日	日	11:00～15:30	永川神社イベント苔玉盆栽ワークショップ (埼玉県中央青年会議所主催)	ミュージアム・サポーター、田口文哉	武蔵一之宮永川神社参道	50
合計							353人

### 3 学校連携

#### (1) 学校見学

さいたま市内小学校を中心に、校外学習等の授業の一環としての見学を受け入れている。

また、当館の利用促進及び効率的な学習活動を提供するため、さいたま市立小学校を対象として、当館の費用負担によるバスの借上げ事業を実施している。

見学は、小学校3年生の社会科「地域学習」を念頭において令和4年度に新たに開発した①大宮盆栽美術館の特徴や大宮盆栽村についての学習、従来から実施していた②展示盆栽の見学、③盆栽に触れる体験からなる3つのプログラムによって実施した。これらのプログラムは、盆栽の見方など、盆栽についての知識を身に付け、展示している盆栽の中から好きな盆栽を探したり、盆栽に触れたり水やりを体験したりすることで、児童が様々な気づきを得ることができる内容となっている。

また、児童の理解をより深めることができるように、事前学習や見学時に利用できる書き込み式の学習シートのデータを事前に学校に配布した。

バス借上げ事業での見学は17校19回実施し、

徒歩及び学校によるバス手配での見学の5校6回と合わせて、実施校数は昨年同様の22校となった。

担当：中村麗理、立石見雪

#### バス借上げ事業での見学

実施校：17校（19回）  
バス借上げ台数：35台  
人数：1,016人（引率を含む）

#### 徒歩及び学校バス手配での見学

実施校：5校（6回）  
人数：581人（引率を含む）

#### 小学校見学総数

実施校：22校（25回）  
人数：1,597人（引率含む）



見学風景

#### 学校見学一覧

##### 【小学校】バス借上げ事業

No	日程	曜日	時間	学校名	学年	クラス数	人数	引率	合計	バス台数
1	5月12日	金	13:30～15:00	岩槻小学校	4	2	52	4	56	2
2	5月24日	水	9:00～10:30	与野本町小学校	3	3	97	7	104	3
3	6月14日	水	9:00～10:30	城南小学校	4	2	45	4	49	2
4	6月20日	火	9:30～12:05	美園小学校	4	5	165	6	171	5
			12:10～14:40							
5	6月23日	金	13:30～15:00	城北小学校	3	3	102	5	107	3
6	7月5日	水	13:30～14:30	神田小学校	4	2	51	4	55	2
7	7月12日	水	9:30～11:00	川通小学校	3	1	17	2	19	1
8	9月15日	金	13:15～14:30	大久保小学校	3	1	29	3	32	1
9	10月11日	水	9:40～11:00	東岩槻小学校	3	1	26	3	29	1
10	10月13日	金	10:30～12:20	北教育相談室・教育支援センター「ははたき」	複数	1	3	4	7	1
11	10月17日	火	12:30～14:10	桜木小学校	3	3	80	4	84	3
12	10月20日	金	10:00～11:00	柏崎小学校	3	1	30	4	34	1
13	10月20日	金	13:00～14:00	あいばれっと	複数	1	5	9	14	1
14	11月29日	水	9:00～10:10	馬宮西小学校	3	1	10	2	12	1
15	1月19日	金	9:20～10:50	与野南小学校	3	2	57	5	62	2
16	1月24日	水	10:30～11:30	野田小学校	3	1	21	2	23	1
17	1月26日	金	9:20～11:00	春岡小学校	3	5	149	9	158	5
			13:00～14:10							
合計					17校（19回）	35クラス			1,016人	35台

##### 【小学校】徒歩及び学校バス手配での見学

No	日程	曜日	時間	学校名	学年	クラス数	人数	引率	合計	来館方法
1	9月12日	火	13:00～14:20	原山小学校	3	3	105	7	112	バス
2	9月13日	水	9:20～11:00	大砂土小学校	3	7	221	9	230	バス
			13:00～14:50							
3	9月27日	水	9:00～10:00	植竹小学校	3	3	98	6	104	徒歩
4	10月3日	火	9:00～10:00	植竹小学校	5	3	109	5	114	徒歩
5	1月30日	火	13:30～14:45	河合小学校	3	1	19	2	21	バス
合計					5校（6回）	17クラス			581人	

## (2) 出張盆栽授業

**対 象：**さいたま市立植竹小学校 第5学年  
**日 時：**3月6日(水)  
9:35~10:20、10:40~11:25、11:35~12:20

**実施数：**3回

**会 場：**植竹小学校

**参加者数：**100人(3クラス)

**講 師：**学芸員

**担 当：**中村麗理、立石見雪

### 開催概要：

植竹小学校第5学年の総合的な学習の時間において、「盆栽の魅力の世界に紹介しよう」と題し、2025年に開催が予定されている大阪・関西万博を舞台とし、盆栽の魅力「誰」に「どのように」紹介するのかを考える授業を行った。5年生が当館の見学や近隣盆栽園の見学、盆栽づくりで学んだ知識をもとに、自分の考える盆栽の魅力について、グループワークを通して理解を深めることを目的としたプログラムである。

これまでの国際博覧会における盆栽との関係について学習し、盆栽をどのように紹介するのか、班ごとに話し合い、画用紙にまとめ発表した。



授業の様子

## (3) 埼玉県立浦和北高等学校・越谷西高等学校 盆栽作品展

**会 期：**11月10日(金)~11月15日(水)  
**会 場：**ロビー  
**参加者数：**69人

浦和北高校55人、越谷西高校14人

**担 当：**田口文哉

### 開催概要：

埼玉県立浦和北高等学校(「美術総合」)および越谷西高等学校(「美術Ⅲ」)では、美術科目において、埼玉県が世界に誇る日本の伝統的な文化である盆栽について、体験を通して理解を深め、地元根付く伝統文化を大切にしている心情を育成することを目的とした授業を行っている。授業には当市の学芸員が出講し、盆栽や盆栽村の歴史、鑑賞の基本などを紹介したほか、藤樹園の盆栽講師の指導により、生徒が事前に制作したオリジナルの盆器で盆栽づくりが行われた。本展示は、その成果発表の場として、当館が開催したものである。

盆栽授業は、浦和北高校では6年目、越谷西高校では4年目となった。



浦和北高校の展示



越谷西高校の展示

(4) さいたま市立土呂中学校・第2学年美術科  
授業作品選抜展覧会「万才・溢彩・BONSAI」

会 期：令和6年3月15日(金)～3月27日(水)

会 場：ロビー

参加者数：36人

担 当：田口文哉、中村麗理

開催概要：

さいたま市立土呂中学校美術科第2学年における盆栽をモチーフとするペーパークラフト作品を制作する授業に協力し、授業の成果発表の場として、授業内容を紹介するとともに生徒の作品から36点を選抜して紹介する展覧会を同校との共催により開催した。

同校美術科2学年では、大宮盆栽村や大宮盆栽美術館が近隣にある地域の特色を生かし、盆栽をモチーフとして造形作品を制作した。作品は、盆栽の調べ学習を行った生徒が、自らの心情を盆栽として表現するために描いたアイデアスケッチを基に、紙紐を材料として束ねて曲げるなどの加工や着彩によって樹木の幹枝を造形し、生徒自身の心の内に秘めた思いや感情を盆栽の形状に置き換えて表現したペーパークラフトである。

展覧会では、担当教諭との相談により、令和5年度第64回埼玉県小・中学校児童生徒美術展において特選を受賞したポスター掲載作品をはじめ、当館において選抜した36作品を展示することとなった。

紙紐を使用し、その特性を生かして自在に作り上げられる植物の姿や盆栽のかたちを通して、自らの感情を表現した生徒たちの魅力あふれる作品の数々は、内外を問わず多くの来場者の興味を引くことになった。

当館では、来年度も引き続き同授業への協力を行っていく予定である。



展覧会ポスター



展示の様子

(5) 職場体験、研修等の受入れ

① さいたま市中学生職場体験事業  
「未来くるワーク体験」

対 象：さいたま市立中学校

日 時：一覧参照

実施数：一覧参照

参加者数：13人

担 当：中村麗理

開催概要：

さいたま市立中学校が実施するさいたま市中学生職場体験事業「未来くるワーク体験」の受入れを行った。中学生には受付業務、展示準備・撤去、盆栽の培養管理など当館の業務の幅広い体験を提供した。

No	学校名	期間	日数	学年	人数
1	日進中学校	7月4日(火)～6日(木)	3	2	3
2	大砂土中学校	8月30日(水)～9月1日(金)	3	2	2
3	土呂中学校	9月6日(水)～9月8日(金)	3	2	3
4	常盤中学校	9月12日(火)～14日(木)	3	2	2
5	第2東中	11月29日(水)～12月1日(金)	3	1	3

合計 15日 13人(5校)

② 中堅教諭等資質向上研修企業等体験研修

対 象：さいたま市立小中学校教諭

日 時：7月29日(土)～7月30日(日)

8月3日(木)～8月4日(金) 8:30～17:15

実施数：2回

参加者数：4人

担 当：中村麗理

開催概要：

夏休み期間中に実施される市立小中学校教諭向けの研修の受入れを行った。講座の準備や開催補助、各種資料の入力業務など、職員が行っている業務全般について体験機会を提供した。

③ 博物館見学実習

対 象：一覧参照

日 時：一覧参照

実施数：4回

参加者数：54人

担 当：学芸員

開催概要：

各大学学芸員課程の博物館見学実習を受け入れ、学芸員による講義と館内の見学案内を行った。

No	学校名	日時	人数
1	大妻女子大学	5月14日(日)13:30～14:00	21
2	大妻女子大学	5月20日(日)13:30～14:30	17
3	跡見学園女子大学	7月2日(日)10:00～12:00	14
4	文教大学	11月22日(水)10:00～12:00	2

合計 54人

## 4 イベント

### (1) ゆかた de 盆美

期 間：7月15日(土)～8月30日(水)

担 当：山川麻衣子

#### 開催概要：

夏季の来館者アップを目的として、毎年恒例となった「ゆかた着用で観覧料無料」等のキャンペーンを行った。

#### ① 観覧料無料キャンペーン

参加者数：104人(男性35人、女性69人)

#### 開催概要：

期間中にゆかた・甚平もしくは和服を着た来館者本人を観覧料無料とした。

#### ② ゆかた着付体験・打ち水イベント

実施日時：7月17日(月祝)

10:00／10:30／14:00／14:30

参加費：無料

参加者数(定員)：15人(20人)

協 力：ハクビ京都きもの学院埼玉校

#### 開催概要：

「ゆかた de 盆美」企画の一環として、ゆかたの着付を体験し、ゆかた姿で館内を見学いただいた。また、庭園で一斉に打ち水を行った。

#### ③ SNSを利用したプレゼント企画

会 場：大宮盆栽美術館

参加費：無料(ゆかた de 盆美に参加された方)

投稿件数：28件

#### 開催概要：

「ゆかた de 盆美」企画の一環として、期間中に当館で撮影したゆかた写真をSNSに投稿いただいた方に、オリジナルポストカードのプレゼントを行った。



会場風景

### (2) SAITAMA Wheel 2023 THE BONSAI Microcosm Journey 大宮盆栽美術館夜間特別ライトアップ

会 期：10月27日(金)～12月10日(日)の  
金・土・日曜・祝日

会 場：盆栽庭園、盆栽テラス

主 催：一般社団法人さいたまスポーツコミッション  
株式会社ジェイコム埼玉・東日本

共 催：さいたま市

#### 開催概要：

「SAITAMA Wheel 2023」の一環として会場協力し、一般社団法人さいたまスポーツコミッション／株式会社ジェイコム埼玉・東日本主催(さいたま市共催)のもと、盆栽庭園及び庭園内の盆栽について、初の夜間ライトアップを実施した。「THE 盆栽 小宇宙の旅」をテーマに、日本の伝統的美意識の象徴ともいえる「盆栽」と、世界共通のロマンが詰まった「宇宙」を掛け合わせ、夜だけの盆栽の美を演出した。

また、盆栽庭園内及び2階盆栽テラスに、二次元コードスタンドを設置し、自身のスマートフォンを使用した体験コンテンツ(誕生日を入力すると設定されたカラーバリエーションでの庭園全体カラー演出やメイン盆栽のプロジェクトンマッピングを一時的に実施)も行った。



イベントビジュアル



盆栽庭園ライトアップ



メイン盆栽プロジェクトンマッピング

(3) 岩槻人形博物館×大宮盆栽美術館の  
コラボイベント「和の調和～岩槻人形  
博物館と大宮盆栽美術館を堪能しよう！」

期 間：12月12日(火)～令和6年3月31日(日)

担 当：山川麻衣子

参加者数：岩槻人形博物館 76 人

大宮盆栽美術館 51 人

開催概要：

期間中に岩槻人形博物館、大宮盆栽美術館どちらかの観覧券を他方の窓口に提示した方に、両館のノベルティグッズをプレゼントした。

(4) 館外イベント出展事業（アウトリーチ活動）

民間企業等の協力のもと、館外にて盆栽関連イベントを実施し、当館及び盆栽文化のPRを行った。

期 日	イベント名称	場 所	内 容	観覧者数 (人)
5月2日～5月5日	おおみや盆栽春まつり	大宮東口銀座通り、氷川参道	パネル展示	※ 38,700
5月19日～5月22日	令和5年度春風盆栽展	国営昭和記念公園	パネル展示、 チラシ配布	※ 3,581
6月1日～6月30日	中央区役所盆栽写真展	中央区役所食堂	盆栽写真パネル展、 チラシ配架	2,040
9月6日～9月10日	さいたま市フェア	イオンモール与野	ポスター展示、 チラシ配布	—
10月14日～10月26日	OKEGAWA hon プラス + 連続展示・講座私たちの埼玉を知る 2023 「みわくのかわいい盆栽」	おけがわマイン	パネル展示、 チラシ配架	—
11月3日～11月4日	2023年秋の盆栽村めぐり	大宮盆栽村	パネル展示、 チラシ配架	—
11月5日	令和5年度北区民まつり	市民の森・見沼グリーンセンター	パネル展示、 コケ玉盆栽づくり	※約 48,000
令和6年3月24日	THIS IS OMIYA	武蔵一宮氷川神社	コケ玉盆栽づくり、 チラシ配架	50

※はイベント全体の来場者数

合計 2,090 人

## 5 ミュージアム・サポーターの活動

期 間：4月～令和6年3月

会 場：大宮盆栽美術館

登録サポーター数：38人

担 当：立石見雪、中村麗理、菅原千華

概 要：

今年度は、ボランティア組織とさいたま国際盆栽アカデミー中級修了者の会を統合し、新たな組織「ミュージアム・サポーター」を発足し、当初39人、7月以降は38人で活動した。

新組織の発足に伴って事業を整理し、ガイド、ワークショップ、学校見学、資料整理、アカデミー実技講座補助の5つのグループ（事業）に分けた。

サポーターは、希望するグループに所属し、それぞれの活動と研修に参加した。

グループに分かれて活動することで、サポ

ーターがそれぞれの能力を活かした活動ができ、研修では事業の特性に合わせたスキルの向上を図れた。

一方で、グループを超えた交流が難しく、サポーターとしての一体感を持っていないという課題が生まれた。令和6年度は、情報共有の方法を見直し、グループの枠組みを取り払うことで、サポーター同士の交流と一体感が持てる組織を目指していく。



### 活動一覧

事業グループ	事業名	日時または期間	実施回数	参加者数(延べ)	内容
ガイド	GW庭園ガイドツアー	5月3日(水祝)～5月5日(金祝) 10:00～12:00、13:00～14:00 30分ごとに開催	10回	27人	ゴールデンウィークの大盆栽まつりの開催にあわせた企画として、30分で館内をめぐるツアーガイドを実施した。あわせて、来館者の質問に答える鑑賞サポートも実施した。
	団体ガイド	8月～3月	7回	14人	新型コロナウイルス感染症対策のため中止していたが、4年振りに再開した。15人以上の団体向けに、30分程度の館内ガイドを実施した。
	ウェルカム・マンデー ウェルカム・ミュージアム!	6月19日(月)～3月31日(日) 土曜日、日曜日、月曜日 10:00～12:00、13:00～15:00	80回	111人	来館者の鑑賞をサポートするため、質問や疑問に答える随時型のガイドを月曜日に実施した。令和6年2月3日以降は、より多くの来館者の満足度を向上させるため、土曜日と日曜日に加え、「ウェルカム・ミュージアム!」に名称を変更して実施した。
ワークショップ	子ども向けワークショップ 盆栽ワークショップ	毎月第3土曜日 9:00～11:30、14:00～15:30	22回	84人	盆栽づくりのワークショップ補助を行った。新型コロナウイルス感染症対策の見直しにより、同感染症が拡大する前と同程度の活動ができるようになった。
	夏休みワークショップ	7月29日(土)～8月7日(月) 内7日間	10回	42人	企画展「夏休み子どもぼんさい美術館」に関連して開催した子ども向けのこけ玉盆栽づくりのワークショップの補助を行った。
	盆栽相談デー	毎月第4日曜日(11月開始) 13:30～15:30	5回	26人	受講生が培養している盆栽の悩みにアドバイスする講師の補助を行った。
学校見学	学校見学	5月12日(金)～1月30日(水)	22校 25回	81人	校外学習で来館した小学生が盆栽についての理解を深められるように、鑑賞方法の解説や水やり体験などを実施した。
資料整理	資料整理	毎月第2日曜日、第4水曜日 13:00～16:00	16回	40人	所蔵図書や資料を体系的に整理し、将来的に活用するため、目録や解題作成を行った。
アカデミー	さいたま国際盆栽アカデミー 盆栽展示	5月3日(水祝)～5月5日(金祝)	1回	14人	さいたま国際盆栽アカデミー修了者が同講座で制作した盆栽やパネル化した体験記を展示し、アカデミー募集に向けたPRを行った。
	アカデミー補助	7月～3月の第1土曜日、第3土曜日 9:30～11:30、13:30～15:30	16回	87人	さいたま国際盆栽アカデミー初級・中級コースの実技講座の補助を同アカデミー中級修了者が行った。
	アウトリーチ活動	11月5日(日)、3月24日(日)	7回	49人	北区民まつり(会場:見沼グリーンセンター)と氷川神社イベント(埼玉県中央青年会議所主催)のワークショップにサポーターが講師として出講し、こけ玉盆栽づくりを実施した。
	研修	主に毎月第2日曜 9:30～11:30	17回	183人	全員を対象とした研修に加え、各事業(グループ)向けの研修を実施した。

## IV さいたま国際盆栽アカデミー

平成 29 年 4 月に開催された「第 8 回世界盆栽大会 in さいたま」を契機として、さいたま国際盆栽アカデミー（以下、盆栽アカデミーという）を開講している。世界に広がる BONSAI 文化の中心地・大宮盆栽村を舞台として、国内外における盆栽文化の普及を目的に、さいたま市大宮盆栽美術館が主催する、日本初の盆栽専門の公的な学習プログラムである。

盆栽に関する知識と技術を体系的に学び、盆栽に関心を持つ人や盆栽の普及に携わる人の人材育成の場になることを目指している。

令和 4 年度の日本人向けコースでは、オンライン講

座の特性を活かして、初・中・上級の全コース共通で受講する共通講座を設けたが、各コースの目標と講座内容を精査し、令和 5 年度は共通講座の内、江戸園芸文化史を初級コースに組み込んだ。残る日本庭園史は令和 6 年度の中級コース、煎茶文化史は令和 7 年度の上級コースに組み込む予定である。これに伴い、初・中・上級の各コースは講義と実技から成る基本講座のみとなった。更に、新型コロナウイルス感染症対策の見直しによる事業変更により、各クラスの定員を令和 4 年度より 1 人増やし、実技講座の時間を 30 分延長して実施した。

また、外国人向け中級コースも開講し、大宮盆栽村の盆栽園主を講師に招き、盆栽愛好家のための講座を実施した。

### 1 日本人向けコース

	初級コース	中級コース	上級コース
対象	一般の方	初級コースを修了した方	中級コースを修了した方
期間 時間	6月3日～令和6年3月2日 【講義】10:00～11:30 【実技】Aクラス 9:30～11:30 Bクラス 13:30～15:30	8月19日～令和6年3月9日 【講義】10:00～11:30 【実技】Aクラス 9:30～11:30 Bクラス 13:30～15:30	6月25日～令和6年3月24日 【講義】10:00～11:30 【実技】9:30～11:30
講座数	7回	8回	10回
参加費	20,700円	28,000円	29,200円
定員	12人（A・Bクラス各6名）	12人（A・Bクラス各6名）	6人
修了者数	12人	12人	6人
概要	盆栽の觀賞方法や歴史、盆栽作りや培養管理等、盆栽の知識を幅広く学習することを目的に開講した。	樹形構想や針金掛け等の盆栽作りの技術と、盆栽と密接な関係がある水石等の文化についての知識向上を目的に開講した。	中級コースで制作した盆栽の樹格向上と、盆栽文化を普及する人材の育成を目的に開講した。
講座内容 講師	第1回【講義】盆栽の鑑賞法・種類と樹形 講師：当館学芸員	第1回【講義】大宮盆栽村について 講師：当館学芸員	第1回【実技】盆栽制作 （真柏の樹形構想・松柏の手入れ） 講師：木村剛（盆栽かへるで）
	第2回【実技】盆栽制作 （鹿島もみじの季節の手入れ） 講師：日本盆栽協会インストラクター	第2回【実技】盆栽制作（真柏の幹掃除） 講師：日本盆栽協会インストラクター	第2回【講義】盆栽の審美眼を持つために 講師：加藤崇寿（蔓青園）
	第3回【講義】盆栽の歴史 講師：当館学芸員	第3回【講義】盆栽の培養管理について 講師：当館技師	第3回【実技】盆栽制作 （剪定・ジンシャリ作り①） 講師：木村剛（盆栽かへるで）
	第4回【実技】盆栽制作 （培養管理と鹿島もみじの手入れ） 講師：日本盆栽協会インストラクター	第4回【実技】盆栽制作（真柏の剪定） 講師：日本盆栽協会インストラクター	第4回【実技】盆栽制作 （剪定・ジンシャリ作り②） 講師：木村剛（盆栽かへるで）
	第5回【実技】盆栽飾りの基礎知識 講師：日本盆栽協会インストラクター	第5回【講義】水石について 講師：加藤崇寿（日本水石協会）	第5回【実技】盆栽制作（鉢合わせ） 講師：木村剛（盆栽かへるで）
	第6回【講義】江戸園芸文化史 講師：椎名和美（(公社)園芸文化協会）	第6回【実技】盆栽制作（針金掛けの基礎①） 講師：日本盆栽協会インストラクター	第6回【講義】盆栽の魅力を伝えるために 講師：山田香織（清香園）
	第7回【実技】盆栽制作 （鹿島もみじの植え替え） 講師：日本盆栽協会インストラクター	第7回【実技】盆栽制作（針金掛けの基礎②） 講師：日本盆栽協会インストラクター	第7回【実技】盆栽制作（針金掛け①） 講師：木村剛（盆栽かへるで）
		第8回【実技】盆栽制作（真柏の植え替え） 講師：日本盆栽協会インストラクター	第8回【実技】盆栽制作（針金掛け②） 講師：木村剛（盆栽かへるで）
			第9回【講義】盆栽文化を広げるために 講師：平尾成志（成勝園）
			第10回【実技】盆栽制作（植え替え） 講師：木村剛（盆栽かへるで）

## 2 外国人向け中級コース (盆栽愛好者向け講座)

**対 象：**盆栽愛好家の外国人

**参 加 費：**40,000 円 (1 団体)

**開催概要：**

訪日盆栽ツアーで来館する盆栽愛好者を主な対象とし、大宮盆栽村の各園が持つ理論と技術を学び、帰国後に実践できる人材育成を目的に開講した。

前半は、「盆栽総論」として盆栽や盆栽村の歴史についての解説を、当館に所属する国際交流員が行った。後半は、各盆栽園から招いた講師による講演を実施した。

### 雑木盆栽の手入れ

**日 時：**令和6年2月13日(火)

14時00分～15時30分

**会 場：**講座室

**修了者数：**19人

**講 師：**芙蓉園2代目園主 竹山浩

**内 容：**

けやき盆栽の特徴的な樹形「帚づくり」を作るための枝数の増やし方や根張りの作り方、その管理の仕方についての講演を行った。

## 3 担当

立石見雪、中村麗理、中村慎太、小棚明生



外国人コースの実施風景



サポーターによる補助



日本人向けコースの実施風景

## V 国際交流

### 1 米国立盆栽・盆景園との姉妹館 交流事業

令和5年度は、令和6年2月1日から2月24日まで、同園のマイケル・ジェームズ学芸員が公務として初めて日本国内の盆栽園及び国風盆栽展の視察のため来日することに合わせ、当館においては以下の受け入れを行った。

- ・当館及び大宮盆栽村各盆栽園の視察並びに盆栽師交流、育成保守業務の体験、盆栽技術指導。
- ・木村正彦氏、春花園BONSAI美術館（小林國雄氏）、雨竹亭（森前誠二氏）の視察対応。
- ・京都寺社の庭園視察対応。

なお、ジェームズ学芸員は一般社団法人日本盆栽協会に加盟する大樹園（愛知県）において、国風盆栽展出品に係る業務体験を当館視察の前に実施している。

当館においては、特に売買を前提としない両館の盆栽コレクションを維持する育成保守技術に関して、技術者間の知見を相互に提供・共有することができたことは、今後の交流内容を一層深めていくことに資すると考えている。

### 2 オーストラリア首都特別地域政府立 キャンベラ樹木園との姉妹館提携

#### (1) 調印式

調印日：11月1日(水)

会場：大宮盆栽美術館ロビー

調印者：さいたま市長 清水勇人  
キャンベラ樹木園管理部長  
スコット・サドラー

#### 次第：

- ・さいたま市長あいさつ
- ・キャンベラ樹木園長あいさつ
- ・調印文書への調印
- ・写真撮影

#### (2) 懇親会

日程：11月1日(水)

会場：大宮盆栽美術館講座室

#### 次第：

- ・キャンベラ樹木園スコット・サドラー氏講演
- ・駐日オーストラリア大使ジャスティン・ヘイハースト氏祝辞
- ・記念品贈呈

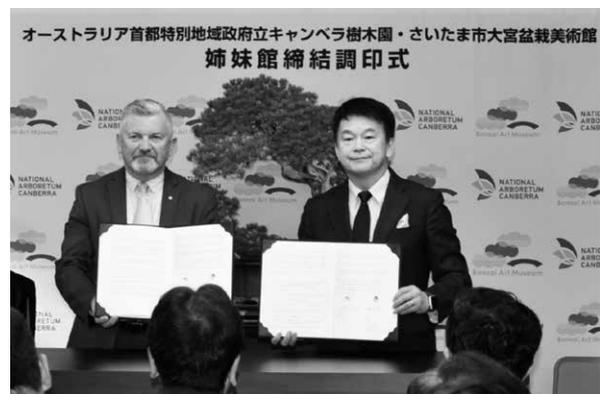
#### (3) キャンベラ樹木園について

キャンベラ市街から6キロに位置し、250ヘクタール（2.5平方km）を超える土地に、4万4千本を超える絶滅の危機に瀕した希少な樹木を集めた世界最大級の樹木園。年間50万人以上が訪れている。

敷地内にはさまざまな施設があり、2008年に開設したオーストラリア盆栽・盆景コレクションは中心的な施設として知られている。

#### (4) 担当

石井 崇



## 3 その他の交流

#### ○「Bonsai Culture Expo」主催者との情報交流

パリ市が運営するパリ花公園内には、1989年に常設の盆栽展示施設が開設されている。同公園を会場として、パリ市や日本国大使館の協賛により、2021年から民間事業者が大規模な盆栽イベントを実施している。令和5年には、昨年度に引き続き当館の告知をイベント会場で放映いただいたほか、来年度以降の協力体制の進展について、来日した主催者と情報交換を実施した。

## VI 調査研究および社会貢献活動

### 1 執筆・寄稿・講師・出演

- (1)立石見雪「収蔵品紹介」(5回)、『盆栽春秋』604号・606号・608号・610号・611号、日本盆栽協会(寄稿)。
- (2)田口文哉・中村麗理・立石見雪「さいたま市大宮盆栽美術館の子ども向け教育普及活動」、『人間生活工学』24巻2号、令和5年9月(寄稿)。
- (3)田口文哉「浮世絵で楽しむ江戸の盆栽文化」、中山道広重美術館・連続講座「江戸庶民の遊びと愉しみ」令和5年11月11日(講師)。
- (4)菅原千華「渋沢栄一の再発見～さいたま市のなかの渋沢栄一～」さいたま市・渋沢研究会共催シンポジウム、レイボックホール(さいたま市民会館おおみや)7階小ホール、令和5年11月18日(パネリスト)。
- (5)田口文哉・中村慎太「2023年度東京大学田無演習林公開講座『松の世界』(後期)第5講『盆栽鑑賞の基本、松盆栽の文化史』、『針金整枝の実演、切枝への針金掛け体験』」令和5年11月25日(講師)。
- (6)清水一郎『『プランツ&ガーデン』とさいたま市大宮盆栽美術館』、日本園芸協会会報誌『プランツ&ガーデン(園芸生活)』200号、令和6年2月(寄稿)。

## VII 資料

### 1 購入資料

本年度は、盆栽2件、卓2件、絵画資料等1件、歴史・民俗資料3件の計8件を購入した。これらの資料は、令和5年12月19日に開催された、さいたま市盆栽資料等選考評価委員会を経て、当館所蔵品として承認された。

### 購入資料一覧

No	分類	資料名	作者等	点数	年代	寸法 (高×幅×奥行cm)
1	盆栽	五葉松	—	1鉢	推定樹齢100年	50×80×75
2	盆栽	檜	—	1鉢	推定樹齢80年	58×73×45
3	卓	竹彫正方高卓	—	1台	1980～90年代	60×24×24
4	卓	高卓	—	1台	現代	54×24.5×24.5
5	絵画資料等	掛軸 蝙蝠新月図	森村 宜福	1幅	明治45年 (1912)	104.5×33.1 ※本紙寸
6	歴史・民俗資料	青湾茶会図巻	田能村 直入	1巻	元治元年 (1864)	27.1×506 ※本紙寸
7	歴史・民俗資料	竹荘茶筵図録	水谷 鶴松	1件 (1冊)	明治32年 (1899)	19×11.7×0.9
8	歴史・民俗資料	盆栽瓶花聚楽 会図録	木曾 庄七	1件 (2冊1組)	明治36年 (1903)	22.5×14.5×0.7

このほかに盆栽の植え替えに使用する盆器を7点購入した。

No	分類	資料名	作者等	年代	寸法 (高×幅×奥行cm)
1	実用盆器	紫泥雲足長方鉢	不明(中国)	現代	9.5×38×28
2	実用盆器	紫泥陣笠丸鉢	不明(中国)	現代	9×30.5×30.5
3	実用盆器	紫泥正方鉢	不明(中国)	現代	11.4×21.5×21.5
4	実用盆器	紫泥中带撫角長方鉢	不明(日本)	現代	13×52×37
5	実用盆器	沓興織部楕円鉢	渡辺一弘	現代	8×42×34.5
6	実用盆器	紫泥外縁木瓜下二本帯鉢	齊田三步	現代	26×65×46.5
7	実用盆器	紫泥外縁木瓜帯鉢	齊田三步	現代	15×65×60

### 2 寄贈資料

#### 寄贈資料一覧

No	分類	資料名	作者等	点数	年代	寸法 (高×幅×奥行cm)	寄贈者
1	卓	紫檀経机式平卓	小川悠山	1台	明治中期～ 昭和初期	20.5×57.5×25.2	個人
2	卓	花欄天拝机卓	日比野 一貫齋	1台	大正～ 昭和時代	31.0×91.0×38.7	個人
3	卓	紫檀算木机卓	葛木香山	1台	昭和時代	30.5×75.5×42.5	個人
4	卓	紫檀算木机卓	葛木香山	1台	昭和時代	30.3×75.5×40.8	個人
5	卓	紫檀中透平卓	葛木香山	1台	昭和時代	18.0×72.2×40.5	個人
6	卓	紫檀天拝机卓	葛木香山	1台	昭和時代	28.5×68.5×37.8	個人
7	卓	紫檀算木机卓	金子一彦	1台	大正～ 昭和時代	28.5×75.5×41.0	個人
8	卓	紫檀透平卓	金子一彦	1台	大正～ 昭和時代	15.0×63.5×34.8	個人
9	卓	紫檀透机卓	金子一彦	1台	大正～ 昭和時代	28.0×75.5×40.8	個人
10	卓	寄木平卓	葛木香山	1台	昭和時代	4.5×37.8×25.2	個人
11	卓	黄楊木平卓	葛木香山	1台	昭和時代	4.5×38.5×21.3	個人
12	卓	舞葡萄地板	不詳	1台	不詳	2.5×52.5×40.0	個人

### 3 収蔵資料利用

(1)館外貸し出し(1件)

貸出先：一般社団法人日本水石協会

目的：同協会主催「第61回日本水石名品展」(会期：令和6年2月14日～17日、東京都美術館)における招待出品とするため。

資料：水石 C-008 瀬田川石 銘「春暁」  
盆器 B-317 斑紫銅卍透文楕円水盤  
卓 D-044 紫檀喉付机卓

(2)特別使用(6件) ※撮影または原板の使用

内訳：盆栽32点、水石5点、絵画資料等7点

## 4 収蔵資料件数

収蔵資料件数一覧

分類記号	分類	令和4年度まで	令和5年度	計
A	盆栽	127	2	129
B	盆器	342	0	342
C	水石	69	0	69
D	卓	81	16※1	97
E	絵画資料等	178	1	178※2
F	歴史・民俗資料	74	3	77
合計		871	22	892

※1:以前の寄贈資料一式から2点移管。※2:E-022とE-022-1を合本。

## 5 図書寄贈者一覧

愛石社  
 朝霞市博物館  
 跡見学園女子大学 花蹊記念資料館 学芸員課程  
 一般社団法人 日本盆栽協会  
 一般社団法人 人間生活工学研究センター  
 一般財団法人 細川流盆石  
 入間市博物館  
 エルメス財団  
 太田記念美術館  
 春日部市郷土資料館  
 株式会社 エスプレス・メディア出版  
 株式会社 NHK エンタープライズ 中部支社  
 株式会社 近代出版  
 株式会社 致知出版社  
 株式会社 東京美術  
 株式会社 枳の葉書房  
 株式会社 ペリかん社  
 株式会社 ミュージアムメディア研究所  
 川口市立アートギャラリー・アトリア  
 川越市立博物館  
 川越市立美術館  
 川崎市市民ミュージアム  
 行田市郷土博物館  
 行田市・桑名市・白河市合同企画展実行委員会  
 久喜市郷土資料館  
 熊谷市立熊谷図書館  
 公益財団法人 根津美術館  
 国分寺市教育委員会  
 国立工芸館

埼玉県立自然の博物館  
 埼玉県立歴史と民俗の博物館  
 さいたま市岩槻人形博物館  
 さいたま市立博物館  
 さいたま文学館  
 座間市教育委員会生涯学習課市史文化財担当  
 静岡県立美術館  
 振興出版社啓林館 文研出版  
 須藤雨伯  
 すみだ郷土文化資料館  
 瀬戸蔵ミュージアム  
 たばこと塩の博物館  
 玉川大学教育博物館  
 中国盆景芸術家協会  
 東京都江戸東京博物館  
 独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所  
 豊島区立郷土資料館  
 戸田市立郷土博物館  
 名古屋市東山植物園  
 西尾市岩瀬文庫  
 日本園芸協会  
 農林水産省  
 野田市郷土博物館・市民会館  
 飯能市立博物館  
 富士見市立難波田城資料館  
 富士見市立水子貝塚資料館  
 府中市郷土の森博物館  
 宮代町郷土資料館  
 武蔵大学 学芸員課程  
 山口県立美術館  
 和歌山市立博物館  
 和光大学 現代人間学部  
 CRESPI EDITORI  
 INTERNATIONAL BONSAI  
 Luis Vallejo Landscape Studio

## Ⅷ 広報活動

### 1 ミュージアムレター「ジンシャリ」

発行：年間4回（季刊）

45号(4～6月)、46号(7～9月)、

47号(10～12月)、48号(令和6年1月～3月)

仕様：A4判2つ折り(A5判)

内容：

45号からリニューアルを行い、44号までのA3判2つ折り(A4判)の体裁から、持ち帰りに手軽なサイズであるA4判2つ折り(A5判)へと変更し、展覧会やイベント等の告知を中心とした「ニュースレター」から、読み物を中心とした「ミュージアムレター」に変更した。

記事は「展示の裏側」、「職人のしごと」、「サポーター通信」など、展覧会では見ることのできない美術館の“裏側”を紹介する内容とし、来館者に隠れた美術館の魅力を楽しめるように工夫した。

なお、本誌はペーパーレス化推進のため、従来の外部配布を取りやめ、来館者サービス向上の一環として主に館内配布に限定するほか、ホームページにウェブサイト版ページを新たに作成し、引き続きPDFファイル版のダウンロードサービスを継続した。

※「ジンシャリ」とは、盆栽の見どころとなる「ジン」および「シャリ」（枝や幹の一部が枯れて白く残る部位。枝をジン、幹をシャリと呼ぶ）からなる誌名。



「ジンシャリ」45号表紙

## 2 公式 SNS の運用

公式 Facebook 及び Instagram にて、展示中の盆栽画像の投稿や、展示・イベント情報の告知を定期的に行った。

当館 Facebook の特徴として、「いいね！」の件数の大半を海外の閲覧者が占めていることを挙げられる。国別フォロワーの割合も、日本以外のフォロワーの割合がおよそ90%と大半を占めている。そのため、投稿にあたっては原則として日英表記としている。年代別のフォロワーの割合は、35～44歳の年代が30%と最も多く、45～54歳の年代が25%、25～34歳の年代が18%と幅広い年代での興味関心の高さが伺える。

同様に、Instagram もコメントの大半が英語であり、日本以外のフォロワーの割合が80%以上を占めることから、投稿にあたっては原則として日英表記としている。年代別フォロワーの割合は、35～44歳の年代が34%と最も多く、次いで25～34、45～54歳の年代が23%と Facebook と比較して若い世代の興味関心が高いことが伺える。

### (1) Facebook

開設日：平成25年7月25日

いいね数：59,314件(令和6年11月30日時点)

フォロワー数：62,862件(令和6年11月30日時点)

国別フォロワー割合：(令和6年11月30日時点)

順位	国・地域名	割合(%)
1	日本	11.8
2	台湾	8.6
3	アメリカ合衆国	7.7
4	タイ	7.1
5	ベトナム	5.4
6	インドネシア	4.1
7	ブラジル	4
8	マレーシア	3.9
9	メキシコ	3.7
10	イタリア	3.6

年代別フォロワー割合：(令和6年11月30日時点)

順位	年代	割合(%)
1	35～44歳	30
2	45～54歳	25
3	25～34歳	18
4	55～64歳	15
5	65歳以上	10.5

(2) Instagram

開設日：平成 29 年 12 月 14 日

フォロワー数：38,792件(令和6年11月30日時点)

国別フォロワー割合：(令和6年11月30日時点)

順位	国・地域名	割合(%)
1	日本	19.5
2	アメリカ合衆国	9.8
3	インドネシア	9.3
4	ブラジル	6.3
5	イタリア	3.9
6	スペイン	3.7
7	メキシコ	2.4
8	オーストラリア	2.2
9	イラン	2.2
10	タイ	2.1

年代別フォロワー割合：(令和6年11月30日時点)

順位	年代	割合(%)
1	35～44歳	34.1
2	25～34歳	23.4
3	45～54歳	23.3
4	55～64歳	11
5	65歳以上	5.3

### 3 主な広報実績

取材媒体	対応実績数	主な掲載媒体(順不同)
テレビ・ラジオ	25	日本テレビ、フジテレビジョン、テレビ朝日、テレビ埼玉、TBSテレビ、NHK、JCOM、北海道テレビ放送、株式会社フジヤイル、FM東京
新聞	18	埼玉新聞、日経新聞、読売新聞、朝日新聞、産経新聞、共同通信
雑誌・情報誌	15	株式会社近代出版「近代盆栽」、日本園芸協会「プランツアンドガーデン2023年秋号」、埼玉新聞社「埼玉暮らしのガイド2024」、株式会社よみうり地域サービスセンター「埼玉中央よみうり」、株式会社東京ニュース通信社「シリーズ旅する日本百選③一宮を訪ねる旅 東日本編」、株式会社JTBパブリッシング情報メディア編集部「ふるまちなちの 埼玉」、株式会社CHINTAI「街ドキ埼玉3月号」、株式会社交通新聞社「散歩の達人2024年5月号特集大宮・浦和」、都市出版株式会社「東京人10月号」、東武鉄道株式会社「マンスリーとーぶ」、サンケイリビング新聞社「リビングさいたま」、JR東日本株式会社「大人の休日倶楽部会員誌」、株式会社中広メディアソリューションズ「情報誌ARIFT」、株式会社エクスマレッジ「東京のちいさな美術館・博物館・文学館」
ウェブサイト	18	公益財団法人東京観光財団「令和5年度「近隣県と連携した海外向けレガシーPR事業 7/3依頼、8/21撮影と関連」Acore おおみやウェブサイト、インタナショナル映画株式会社「JAPAN VIDEO TOPICS(ジャパンビデオボックス)」、JR 東日本株式会社「JR times」、「大人の休日倶楽部 WEBサイト」、株式会社 ICHIGO ホームページ・SNS、埼玉日和WEBサイト、株式会社資生堂「WeChatミニプログラム“観美日本”(Sightseeing Japanese Beauty)」埼玉りそな銀行「ウェブマガジン咲いたま、みつけ」、「デイリーポータルZ」、読売新聞東京本社「美術展ナビ」、株式会社 AAB、IACEトラベル「メディア向けニュースレター」、JTBパブリッシング「ふるまふ&more」、ルートインホテルズ公式Instagram
教育機関	2	株式会社新興出版社啓林館「小学校外国語科6年生の教科書」、文研出版「根っここのふしぎな世界」
さいたま市・行政機関(市外)	12	さいたま市広報課、さいたま市指導1課、さいたま市北区役所総務課、さいたま市北区役所コミュニティ課、埼玉県県民広聴課、埼玉県観光課、一般社団法人埼玉県産産観光協会、財務省大宮税務署、内閣府
その他	2	株式会社KINTO「Instagram」株式会社東宣「Instagram」

合計 92 件

## IX ミュージアムグッズ

令和5年度に取扱いをしたミュージアムグッズは以下のとおり。(価格は税込み)

	品名	価格
図録		
1	美術コレクション名品選	800
2	錦秋 盆栽村の美と歴史 Part1	500
3	盆栽×写真 vol.1 大和田良写真展「FORM - SCENERY SEEN THROUGH BONSAI -」	2,940
4	盆栽×写真 vol.2 糸崎公朗作品展「Kimio Itozaki Bonsai PHOTO WORKS」	1,600
5	盆栽につもる雪-「鉢木」物語の世界	1,200
6	大宮盆栽村の歴史展Ⅲ 世界の BONSAI へ 1945-1989	300
7	「第8回世界盆栽大会 in さいたま」記念特別展 盆栽-さいたま発の世界ブランド 盆栽展記念帖	500
8	三代目尾上菊五郎改め、植木屋松五郎!? -千両役者は盆栽狂	1,000
9	シリーズ・現代の盆栽家I 竹山浩 -自然を巡る、雑木の匠	500
10	シリーズ・現代の盆栽家II 木村正彦 -あそびの領分	500
11	国風盆栽展の誕生-「美術館」を目指した昭和初期の盆栽	1,000
12	盆栽美術本 時空の美-盆栽 Beauty of Space and Time-BONSAI	2,000
13	Bonsai, Beyond the Border 海を越えた盆栽家 吉村西二-ニューヨーク、1958	500
14	シリーズ・現代の盆栽家III 山田登美男 -盆栽、美の探求	500
15	ガイドブック	500
16	〈盆栽〉の物語(日・英)	300
17	大宮盆栽村の誕生-100年のあゆみ(日・英)	300
18	令和5年度特別展/煎茶と盆栽 ~「盆栽」の夜明け	600
手ぬぐい		
19	日暮し	1,000
20	BONSAI	1,000
21	青龍	1,400
22	額装用日暮し	1,400
雑貨		
23	クリアファイル(日暮し)	250
24	クリアファイル(鉢植えつき)	200
25	Tシャツ	1,600
26	絵葉書	100
27	絵葉書(大判)	150
28	割箸(5膳セット)	250
29	ハンカチ(紺・緑)	500
30	トートバック(縦型)	1,000
31	トートバック(横型)	1,200
32	マスキングテープ	500
33	初心者向け道具セット	9,800
34	メモ帳(寿雲・思いのまま)	500
35	傘	2,000
36	のれん(大)	4,500
37	のれん(小)	3,800
38	盆栽置	6,500
39	ネックストラップ	1,200
40	オリジナル盆器	12,000
食品		
41	大宮盆栽だー!! ※館内飲食の場合は203円	200

## X 入館者数等

### 1 入館者数

令和5年度

(人)

	一般	65歳以上	高大生	小中学生	年間パスポート 等利用	講座・学校・ 視察等	開館日数	1日あたりの 入館者数	合計
4月	2,456	1,017	61	116	196	497	26	167	4,343
5月	4,024	1,837	141	194	443	1,459	28	289	8,098
6月	1,417	634	54	102	187	867	22	148	3,261
7月	1,512	384	108	53	315	906	27	121	3,278
8月	1,648	344	128	44	635	584	26	130	3,383
9月	1,855	627	104	71	234	1,095	26	153	3,986
10月	2,583	1,053	76	103	554	1,056	27	201	5,425
11月	3,864	1,589	118	195	736	1,158	26	295	7,660
12月	2,219	824	116	182	548	661	24	190	4,550
1月	1,549	561	46	78	186	952	24	141	3,372
2月	1,883	738	96	72	285	595	24	153	3,669
3月	2,802	985	157	134	288	892	27	195	5,258
計	27,812	10,593	1,205	1,344	4,607	10,722	307	183	56,283

※年間パスポート購入時の利用は、一般、65歳以上、高大生、小中学生の区分に含む。  
※「1日あたりの入館者数」の合計欄には、年間を通した1日あたりの入館者数を掲載。

(参考資料)

(人)

	一般	65歳以上	高大生	小中学生	年間パスポート 等利用	講座・学校・ 視察等	開館日数	1日あたりの 入館者数	合計
平成22年度	30,990	25,806	-	970	587	7,210	295	222	65,563
平成23年度	21,931	16,430	-	812	312	10,850	298	169	50,335
平成24年度	19,128	14,152	467	767	315	14,570	297	166	49,399
平成25年度	20,899	13,268	520	779	330	15,131	301	169	50,927
平成26年度	24,180	15,943	609	863	6,230	12,736	305	199	60,561
平成27年度	30,026	19,536	790	1,013	5,129	17,223	306	241	73,717
平成28年度	28,793	17,671	720	1,005	5,425	22,013	309	245	75,627
平成29年度	39,911	27,450	703	1,374	6,196	20,367	307	313	96,001
平成30年度	29,676	17,306	900	1,098	4,570	18,610	307	235	72,160
令和元年度	27,143	14,901	901	1,017	4,403	14,843	281	225	63,208
令和2年度	10,692	3,399	565	467	1,924	3,021	258	78	20,068
令和3年度	15,237	5,150	659	932	2,380	6,956	307	102	31,314
令和4年度	21,286	8,148	995	941	3,146	9,144	309	141	43,660

※開館からの累計観覧者数(～R6.3.31) 811,434

### 2 展覧会別入館者数(企画展・特別展)

(人)

No	名称	会場	会期	開館 日数	1日あたりの 入館者数	入館者数
1	企画展「さつき盆栽展」	コレクションギャラリー	5月26日(金)～6月4日(日)	9	180	1,624
2	企画展「山水涼景～水石の世界」	コレクションギャラリー	7月21日(金)～8月30日(水)	36	129	4,660
3	企画展「夏休み子どもほんさい美術館」	企画展示室	7月22日(土)～8月30日(水)	35	131	4,585
4	企画展「白砂と石の風景―「盆石」の旅」	コレクションギャラリー	9月8日(金)～9月20日(水)	12	179	2,157
5	さいたま国際芸術祭 2023 市民プロジェクト さいたま市文化施設～味変企画	コレクションギャラリー	10月6日(金)～10月25日(水)	18	203	3,654
6	企画展「第32回 作家展(日本盆栽作家協会)」	コレクションギャラリー	10月27日(金)～11月15日(水)	18	260	4,683
7	企画展「子どもたちに伝えたい さいたまの盆栽」	企画展示室	12月9日(土)～ 令和6年1月24日(水)	35	144	5,067
8	特別展「煎茶と盆栽～「盆栽」の夜明け」	企画展示室、 コレクションギャラリー	2月10日(土)～3月20日(水祝)	35	176	6,193

### 3 外国人入館者数

令和5年度 (人)

順位	国・地域名	人数
1	アメリカ	1,890
2	オーストラリア	877
3	中華人民共和国	600
4	フランス	491
5	ドイツ	456
6	イギリス	397
7	台湾	306
8	イタリア	301
9	スペイン	262
10	イスラエル	252
合計 106ヶ国・地域		8,721

令和4年度 (人)

順位	国・地域名	人数
1	アメリカ	785
2	オーストラリア	210
3	ドイツ	178
4	イギリス	159
5	中華人民共和国	132
6	フランス	122
7	台湾	94
8	韓国	91
9	タイランド	88
10	イタリア	83
合計 90ヶ国・地域		2,988

令和3年度 (人)

順位	国・地域名	人数
1	アメリカ	194
2	フランス	77
3	中華人民共和国	76
4	ロシア	44
5	フィリピン	40
6	インド	36
7	韓国	29
8	オーストラリア	27
9	ベトナム	26
10	イギリス	23
合計 61ヶ国・地域		807

### 4 施設利用

講座室：31件

※ふれあい広場は大宮盆栽協同組合が通年利用し、盆栽等を販売している。

## XI 条例・規則

### ○さいたま市大宮盆栽美術館条例

平成21年7月17日

条例第30号

改正 平成25年12月26日条例第46号

平成31年3月13日条例第2号

(設置)

第1条 盆栽に関する知識及び教養の向上を図り、盆栽文化の振興に寄与するため、さいたま市大宮盆栽美術館（以下「美術館」という。）をさいたま市北区土呂町2丁目24番地3に設置する。

(事業)

第2条 美術館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 盆栽その他の盆栽文化に関する資料（以下「盆栽資料」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 盆栽文化に関する調査及び研究並びにその成果の展示、出版等に関すること。
- (3) 講演会、講習会等の主催、広報の発行その他の盆栽文化に関する普及活動に関すること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、美術館の設置の目的を達成するために必要な事業

(休館日)

第3条 美術館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 木曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日である場合を除く。）
- (2) 1月1日から同月3日まで及び12月29日から同月31日まで

2 市長は、前項の規定にかかわらず、施設の管理運営上特に必要があると認めるときは、臨時に休館日进行定め、又は休館日に開館することができる。

(開館時間等)

第4条 美術館の開館時間は、次の各号に掲げる期間に応じ、当該各号に定めるとおりとする。ただし、常設展示室、企画展示室及び盆栽庭園へ入場することができる時間は、閉館する30分前までとする。

- (1) 3月から10月までの期間 午前9時から午後4時30分まで
- (2) 前号に掲げる期間以外の期間 午前9時から午後4時まで

2 市長は、前項に規定する開館時間又は入場時間を、事情により変更することができる。

(観覧料)

第5条 美術館が展示する盆栽資料を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、市長は、特別の盆栽資料（美術館が所蔵しない盆栽資料であって、その展示に特別の費用を要すると市長が認めるものをいう。別表第1において同じ。）を展示するときは、別表第1に

定める額の2倍に相当する額以下の範囲内において別に観覧料の額を定めることができる。

(特別使用の許可等)

第6条 美術館が所蔵している盆栽資料について、撮影又は原板の使用(第17条第2項第3号において「特別使用」という。)をしようとする者は、規則で定めるところによりあらかじめ市長の許可を受けなければならない。

2 前項の許可を受けた者は、別表第2に定める特別使用料を納付しなければならない。

(施設等の利用)

第7条 企画展示室(盆栽広場を含む。以下同じ。)、講座室(盆栽テラスを含む。以下同じ。)及びこれらの施設の利用に伴う附属設備(以下「施設等」という。)は、美術館の事業に供していない期間については、美術館の設置の目的に即した利用に供することができる。

2 前項に規定する施設等及び駐車場を引き続いて利用することができる期間は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める期間とする。ただし、市長は、事情によりこれを変更することができる。

- (1) 企画展示室 15日
- (2) 講座室 7日
- (3) 附属設備 利用する企画展示室又は講座室の引き続いて利用することができる期間と同一の期間
- (4) 駐車場 1日

3 施設等を利用しようとする者は、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。許可に係る事項を変更しようとするときも、同様とする。

4 市長は、前項の許可(変更の許可を含む。)をする場合において、施設等の管理上必要な条件を付することができる。

5 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、施設等の利用を許可しない。

- (1) 施設等の設置の目的に反するとき。
- (2) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
- (3) 施設等を損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。
- (4) 物品(展示する盆栽資料に係る図録、絵はがき、ポスターその他これらに類するものを除く。)の販売を目的とするとき。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、施設等の管理上支障があるとき又は市長が適当でないと認めるとき。

(利用権の譲渡等の禁止)

第8条 前条第3項に規定する利用の許可(変更の許可を含む。)を受けた者(以下「利用者」という。)は、その権利を他人に譲渡し、又は転貸してはならない。

(特別の設備等の制限)

第9条 利用者は、施設等を利用するに当たって、特別の設備をし、又は備付けの物品以外の物品を利用する場合は、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。

(利用の許可の取消し等)

第10条 市長は、利用者が次の各号のいずれかに該当するとき又は施設等の管理上特に必要があるときは、

当該許可に係る利用の条件を変更し、若しくは利用を停止し、又は当該許可を取り消すことができる。

(1) この条例又はこの条例に基づく規則の規定に違反したとき。

(2) 偽りその他不正の行為により利用の許可を受けたとき。

(3) 利用の許可の条件又は関係職員の指示に従わないとき。

2 前項の措置によって利用者に損害が生じることがあっても、市は、その責めを負わない。

(使用料の納付)

第11条 利用者及び駐車場を利用しようとする者は、別表第3に定める使用料を納付しなければならない。

2 附属設備を利用しようとする者は、規則で定める使用料を納付しなければならない。

(入館の禁止等)

第12条 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、美術館への入館を禁止し、又は退館を命じることができる。

(1) 美術館内の秩序を乱し、若しくは他の入館者に迷惑を及ぼし、又はこれらのおそれがあるとき。

(2) 盆栽資料又は施設若しくは設備を損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。

(3) 前2号に掲げるもののほか、施設の管理上支障があるとき。

(観覧料等の減免)

第13条 市長は、必要があると認めるときは、第5条に規定する観覧料、第6条第2項に規定する特別使用料及び第11条に規定する使用料(以下「観覧料等」という。)を減額し、又は免除することができる。

(観覧料等の不還付)

第14条 既納の観覧料等は、還付しない。ただし、市長は、特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(原状回復の義務)

第15条 利用者は、施設等の利用が終わったときは、速やかに当該施設等を原状に回復し、又は搬入した物件を撤去しなければならない。第10条第1項の規定により利用の停止又は許可の取消しの処分を受けたときも、同様とする。

2 利用者が、前項の規定による義務を履行しないときは、市長において原状に回復し、これに要した費用は、利用者の負担とする。

(損害賠償の義務)

第16条 故意又は過失により盆栽資料又は施設若しくは設備を損傷し、又は滅失した者は、それによって生じた損害を賠償しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(指定管理者による管理)

第17条 市長は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であって市長が指定するもの(以下「指定管理者」という。)に、施設の管理に関する業務のうち、次に掲

げるものを行わせることができる。

- (1) 第2条に規定する事業の実施に関すること。
- (2) 施設の維持管理に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、市長が特に必要があると認める業務

2 市長は、前項各号に掲げるもののほか、次に掲げる業務を指定管理者に行わせることができる。

- (1) 第3条第1項の規定にかかわらず、施設の管理運営上特に必要があると認めるときに、市長の承認を得て、臨時に休館日を定め、又は休館日に開館すること。
- (2) 第4条第1項の規定にかかわらず、施設の管理運営上特に必要があると認めるときに、市長の承認を得て、開館時間又は入場時間を変更すること。
- (3) 第6条第1項の規定により、特別使用を許可すること。
- (4) 第7条第2項の規定にかかわらず、施設等の管理運営上特に必要があると認めるときに、市長の承認を得て、引き続いて利用することができる期間を変更すること。
- (5) 第7条第3項の規定により、施設等の利用の許可若しくは許可に係る事項の変更の許可をすること又は同条第4項の規定により、許可に条件を付すること。
- (6) 第7条第5項の規定により、同項第1号から第4号までのいずれかに該当すると認めるとき又は施設等の管理上支障があるとき若しくは許可をすることが適当でないとき認めるときに、許可をしないこと。
- (7) 第9条の規定により、特別の設備をし、又は備付けの物品以外の物品を利用する場合に許可をすること。
- (8) 第10条第1項の規定により、同項第1号若しくは第2号のいずれかに該当するとき、利用の許可の条件若しくは指定管理者の指示に従わないとき又は施設等の管理運営上特に必要があるときに、許可に係る利用の条件を変更し、若しくは利用を停止し、又は許可を取り消すこと。
- (9) 第12条の規定により、美術館への入館を禁止し、又は退館を命じること。

(委任)

第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

### 附 則

この条例は、平成22年3月28日から施行する。

### 附 則 (平成25年12月26日条例第46号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

(経過措置の原則)

2 次項から第9項までに定めるものを除くほか、次の表の左欄に掲げる規定は、それぞれ、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)以後の同表の右欄に掲げる行為に係る使用料、利用料金、手数料等について適用し、施行日前の同欄に掲げる行為に係る使用料、利用料金、手数料等については、なお従前の例による。

略	略
第33条の規定による改正後のさいたま市大宮盆栽美術館条例別表第1の規定	納付
第33条の規定による改正後のさいたま市大宮盆栽美術館条例別表第2及び別表第3の規定	利用
略	略

附 則 (平成31年3月13日条例第2号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成31年10月1日から施行する。

(使用料等に関する経過措置)

2 この条例(第1条、第10条から第12条まで、第15条、第16条、第17条(同条中第6条の改正に限る。)、第18条、第30条及び第51条から第53条までの規定を除く。)による改正後のそれぞれの条例の規定は、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)以後に行う施設の使用等に係る使用料、利用料金等(以下「使用料等」という。)で施行日以後に納付するものについて適用し、施行日前に行った施設の使用等に係る使用料等で施行日前又は施行日以後に納付するもの及び施行日以後に行う施設の使用等に係る使用料等で施行日前に納付するものについては、なお従前の例による。

別表第1(第5条関係)

(一部改正〔平成25年条例46号・31年2号〕)

区 分	観覧料 (1人1回につき)		年間観覧料 (個人に限る。)
	個人	団体 (20人以上)	
一般	310円	200円	1,040円
高校生・大学生・65歳以上	150円	100円	520円
小学生・中学生	100円	50円	310円

備考

- 1 「一般」とは、15歳以上65歳未満の者で、次項及び第3項に該当する者以外のものをいう。
- 2 「高校生・大学生」とは、高等学校、専修学校及びこれらに準ずる学校並びに大学の生徒及び学生をいう。
- 3 「小学生・中学生」とは、義務教育諸学校の児童及び生徒をいう。
- 4 「年間観覧料」とは、同一人が1年間美術館の展示する盆栽資料(特別の盆栽資料を除く。)を観覧しようとする場合の観覧料をいう。

別表第2(第6条関係)

(一部改正〔平成25年条例46号・31年2号〕)

区 分	特別使用料(1点1回につき)
撮 影	学術研究用 540円
	そ の 他 4,400円
原板使用	学術研究用 540円
	そ の 他 3,300円

備考

- 1 盆栽は、1鉢を1点とする。
- 2 盆器、掛軸及び浮世絵は、1組を1点とする。
- 3 前2項に該当する盆栽資料以外のものは、1個を1点とする。
- 4 原板には、電磁的記録(電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録をいう。)を含む。

別表第3(第11条関係)

(一部改正〔平成25年条例46号・31年2号〕)

施設の名称	利用区分	使用料
企画展示室	1日	8,000円
講座室	午前 (9時から12時まで)	1,980円
	午後 (13時から閉館時間まで)	1,980円
	1日	3,960円
駐車場	大型車	1台(1回につき)
	一般車	1台 (2時間を超える場合)
		超過時間30分(30分に満たないときは、30分とする。)ごとに100円を加算して得た額に100分の110を乗じて得た額

#### 備考

- 施設等の利用の許可に係る日のうちに休館日(搬入又は搬出のために利用する日を除く。)がある場合は、当該休館日は、使用料を徴収しない。
- 企画展示室又は講座室の利用に係る搬入又は搬出に1日(講座室にあっては、午前、午後又は1日)を要する場合における企画展示室及び講座室の使用料は、当該使用料の額に100分の70を乗じて得た額とする。
- 企画展示室又は講座室の利用者が入場料その他これに類する料金(以下「入場料」という。)を徴収する場合(規則で定める場合を除く。)の企画展示室及び講座室の使用料には、当該使用料の額に次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額を加算する。
  - 1人1回について徴収する最高の入場料が1,000円未満のとき 100分の50
  - 1人1回について徴収する最高の入場料が1,000円以上のとき 100分の100
- 「大型車」とは、道路運送車両法施行規則(昭和26年運輸省令第74号。以下「省令」という。)別表第1に掲げる普通自動車のうち、貨物の運送の用に供するもの又は人の運送の用に供する乗車定員11人以上のものをいう。
- 「一般車」とは、次に掲げるものをいう。
  - 省令別表第1に掲げる普通自動車のうち、人の運送の用に供する乗車定員10人以下のもの
  - 省令別表第1に掲げる小型自動車及び軽自動車
- 使用料を計算する場合において、使用料の額に10円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てる。

#### ○さいたま市大宮盆栽美術館条例施行規則

平成22年2月10日

規則第2号

改正 平成22年6月14日規則第80号

平成24年1月6日規則第1号

平成26年2月3日規則第16号

平成30年3月29日規則第47号

平成31年4月26日規則第58号

令和2年5月28日規則第80号

令和3年3月31日規則第32号

(趣旨)

第1条 この規則は、さいたま市大宮盆栽美術館条例(平成21年さいたま市条例第30号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(観覧券の交付等)

第2条 市長は、条例第5条第1項の規定により観覧料

(年間観覧料を除く。以下この項において同じ。)を納付した者に対し、観覧券を交付する。ただし、電磁的記録(電子的方式、磁気的方式その他の知覚によっては認識することができない方式で作られた記録であって、電子計算機による情報処理の用に供されるものをいう。)の方法により観覧料が納付されたことを確認した場合は、この限りでない。

- 市長は、条例第5条第2項に規定する観覧料の額を納付した者に対し、特別の観覧券を交付する。
- 市長は、条例第5条第1項の規定により年間観覧料を納付した者(以下「年間観覧者」という。)に対し、年間観覧券を交付する。
- 年間観覧券の有効期間は、交付の日から起算して1年とする。
- 年間観覧者は、美術館が展示する盆栽資料(条例第5条第2項に規定する特別の盆栽資料を除く。)を観覧しようとするときは、有効な年間観覧券を提示しなければならない。
- 美術館が1月以上休館する場合において、当該休館期間の開始日が年間観覧券の有効期間内に存するときは、当該休館期間(その期間に1月未満の端数がある場合には、これを1月とする。)に相当する期間を、年間観覧券の有効期間に加えるものとする。  
(一部改正〔平成30年規則47号・令和2年80号〕)

(特別使用手続)

第3条 条例第6条第1項の規定により特別使用の許可を受けようとする者は、あらかじめ、特別使用許可申請書(様式第1号)を市長に提出しなければならない。

- 条例第6条第1項の許可(以下「特別使用許可」という。)は、特別使用許可書兼領収書(様式第2号)を交付して行う。
- 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、特別使用を許可しない。
  - 美術館の設置の目的に寄与すると認められないとき。
  - 盆栽資料の保存に影響を及ぼすおそれがあるとき。
  - 盆栽資料を損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。
  - 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
  - 前各号に掲げるもののほか、特別使用をすることが適当でないとき。

4 市長は、特別使用許可をする場合において、必要な条件を付することができる。

5 特別使用許可を受けた者は、第2項の規定による特別使用許可書の交付と引換えに特別使用料を納付しなければならない。

(施設等の利用)

第4条 条例第7条第1項の規定による施設等の利用に係る搬入又は搬出については、条例第3条第1項第1号の規定にかかわらず、木曜日に行うことができる。

(施設等利用手続)

第5条 条例第7条第3項の規定による施設等の利用の許可又は許可に係る事項の変更の許可(以下「施設等

の利用許可等」という。)を受けようとする者は、次の各号に掲げる場合に依り、当該各号に定める書類を市長に提出しなければならない。

(1) 利用の許可を受けようとする場合 利用許可申請書(様式第3号)

(2) 許可に係る事項の変更の許可を受けようとする場合 利用変更許可申請書(様式第4号)

2 駐車場及び音声ガイド機器の利用の手続については、市長が別に定める。

(一部改正〔平成24年規則1号〕)

(利用の許可)

第6条 施設等の利用許可等は、次の各号に掲げる区分に依り、当該各号に定める書類を交付して行う。

(1) 利用の許可 利用許可書兼領収書(様式第5号)

(2) 許可に係る事項の変更の許可 利用変更許可書兼領収書(様式第6号)

(使用料の納付)

第7条 施設等の利用許可等を受けた者(以下「利用者」という。)は、前条各号に定める書類の交付と引換えに使用料を納付しなければならない。

(附属設備の使用料)

第8条 条例第11条第2項に規定する規則で定める使用料は、別表に定めるとおりとする。

(観覧料等の減免)

第9条 条例第13条の規定により観覧料等を減額し、又は免除する場合及びその割合は、次のとおりとする。

(1) 教育課程に基づく学習活動として学生、生徒又は児童及びその引率者が利用する場合 100分の100

(2) 市又は市教育委員会が主催する事業に利用する場合 100分の100

(3) 埼玉県又は埼玉県教育委員会が主催する事業に利用する場合 100分の100

(4) 前3号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める場合 市長が相当と認める割合

2 前項の規定により観覧料等の減額又は免除を受けようとする者は、あらかじめ、観覧料等減額(免除)申請書(様式第7号)を市長に提出しなければならない。ただし、市長が提出を要しないと認めた者については、口頭で申請することができる。

3 市長は、前項の規定による申請を適当と認めるときは、観覧料等減額(免除)承認書(様式第8号)を交付してこれを承認する。この場合において、前項ただし書の規定による申請があったときは、当該書面の交付を省略することができる。

4 市長は、第1項に規定するもののほか、年間観覧者が有効な年間観覧券を提示して条例第5条第2項に規定する特別の盆栽資料を観覧しようとするときは、同項に規定する市長が別に定める観覧料から観覧料(年間観覧料を除く。)に相当する額を減額するものとする。

(一部改正〔平成22年規則80号〕)

(使用料の還付)

第10条 条例第14条ただし書の規定により、施設等の使用料を還付する場合及びその割合は、次のとおりとする。

(1) 施設の管理上特に必要があるため、市長が施設等の利用許可等を取り消した場合 100分の100

(2) 利用者の責めに帰することができない理由により、施設等を利用することができない場合 市長が相当と認める割合

(使用料加算額の特例)

第11条 条例別表第3備考第3項に規定する規則で定める場合は、次に掲げる場合とする。

(1) 市又は市教育委員会が主催して行う事業で入場料その他これに類する料金を徴収する場合

(2) 埼玉県又は埼玉県教育委員会が主催して行う事業で入場料その他これに類する料金を徴収する場合

(3) 前2号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める場合

(図録等の販売の承認)

第12条 利用者が、許可を受けた施設等を利用する場合において、展示する盆栽資料に係る図録、絵はがき、ポスターその他これらに類するものを販売しようとするときは、あらかじめ市長の承認を受けなければならない。

(管理上の立入り)

第13条 市長は、施設の管理上必要があると認めるときは、施設等の維持のため利用されている施設に関係職員を立ち入らせることができる。

(遵守事項及び市長の指示)

第14条 市長は、美術館の入館者の遵守事項を定め、かつ、施設の管理上必要があると認めるときは、入館者に対し、その都度指示することができる。

(盆栽資料の館外貸出し)

第15条 市長は、他の美術館その他市長が適当と認めるものに対し、美術館が所蔵している盆栽資料の貸出しをすることができる。

2 前項の規定による貸出し(以下「館外貸出し」という。)を受けようとする者は、あらかじめ館外貸出許可申請書(様式第9号)を市長に提出し、許可を受けなければならない。許可に係る事項を変更しようとするときも、同様とする。

3 前項の許可(変更の許可を含む。)は、館外貸出許可書(様式第10号)を交付して行う。

4 館外貸出しの期間は、60日以内とする。ただし、市長は、必要があると認めるときは、これを延長することができる。

(寄贈及び寄託)

第16条 市長は、盆栽資料の寄贈(以下「寄贈」という。)及び盆栽以外の盆栽資料の寄託(以下「寄託」という。)を受けることができる。

2 寄贈又は寄託をしようとする者は、寄贈にあつては寄贈申請書(様式第11号)を、寄託にあつては寄託

申請書（様式第12号）を市長に提出するものとする。  
 3 市長は、寄贈又は寄託を受けることを決定したときは、前項の規定により申請をした者に対し、寄贈にあつては受領書（様式第13号）を、寄託にあつては受託書（様式第14号）を交付する。

4 寄託を受けた盆栽以外の盆栽資料（次項において「寄託品」という。）は、美術館が所蔵する盆栽資料と同様の取扱いをするものとする。ただし、その館外貸出しについては、寄託をした者の承認を得なければならない。

5 市長は、寄託品に災害その他の不可抗力による損害があったときは、その責めを負わない。

（指定管理者に関する読替え）

第17条 条例第17条の規定により指定管理者が施設の管理に関する業務を行う場合についての第2条第1項から第3項まで、第3条第3項から第5項まで、第5条第1項、第7条、第9条第2項、第10条第1号、第13条並びに第14条の規定の適用については、これらの規定中「市長」とあるのは「指定管理者」とする。

（その他）

第18条 この規則の施行に関し必要な事項は、別に定める。

**附 則**

この規則は、平成22年3月28日から施行する。

**附 則**（平成22年6月14日規則第80号）

この規則は、公布の日から施行する。

**附 則**（平成24年1月6日規則第1号）

この規則は、平成24年1月13日から施行する。

**附 則**（平成26年2月3日規則第16号）

（施行期日）

1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この規則による改正後のさいたま市大宮盆栽美術館条例施行規則別表の規定は、この規則の施行の日以後の利用に係る使用料について適用し、同日前の利用に係る使用料については、なお従前の例による。

**附 則**（平成30年3月29日規則第47号）

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

**附 則**（平成31年4月26日規則第58号）

（施行期日）

1 この規則は、平成31年10月1日から施行する。

（経過措置）

2 この規則による改正後のさいたま市大宮盆栽美術館条例施行規則別表の規定は、この規則の施行の日（以下「施行日」という。）以後の附属設備の利用に係る使用料で施行日以後に納付するものについて適用し、施行日前の附属設備の利用に係る使用料で施行日前又は施行日以後に納付するもの及び施行日以後の附属設備の利用に係る使用料で施行日前に納付するものについては、なお従前の例による。

**附 則**（令和2年5月28日規則第80号）

（施行期日等）

1 この規則は、公布の日から施行し、この規則による改正後のさいたま市大宮盆栽美術館条例施行規則第2条第6項の規定は、令和2年3月2日（以下「適用日」という。）から適用する。

（経過措置）

2 この規則による改正後のさいたま市大宮盆栽美術館条例施行規則第2条第6項の規定は、適用日以後に有効期間が満了する年間観覧券について適用し、適用日前に有効期間が満了した年間観覧券については、なお従前の例による。

**附 則**（令和3年3月31日規則第32号）

（施行期日）

1 この規則は、令和3年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の各規則の規定により作成されている様式については、当分の間、使用することができる。

別表（第8条関係）

（一部改正〔平成24年規則1号・26年16号〕）

1 企画展示室の附属設備の使用料

附属設備の名称	単位	使用料（1日につき）	備考
スポットライト	1台	50円	
AV装置	1式	2,780円	

2 講座室の附属設備の使用料

附属設備の名称	単位	使用料（1回につき）	備考
移動展示パネル	1台	50円	
拡声装置	1式	590円	CDプレーヤー、カセットプレーヤー及びマイクを含む。

3 その他の附属設備の使用料

附属設備の名称	単位	使用料（1回につき）	備考
音声ガイド機器	1台	310円	
DLPプロジェクター	1式	1,040円	アジャスターテーブルを含む。
移動式スクリーン	1台	200円	
持込み電気器具用電源	1キロワット	100円	単位は、持込み器具1台につき表示された消費電力による。1キロワットに満たない場合は、1キロワットとする。

備考 この表による使用料は、条例別表第3に規定する使用料の利用区分に従い、同表の午前又は午後の利用をもって1回、同表の1日の利用をもって2回として計算する。ただし、企画展示室の附属設備の使用料は1日の利用を1回として計算する。

様式 略

**さいたま市規則56号**

**さいたま市大宮盆栽美術館運営委員会規則**

（趣旨）

第1条 この規則は、さいたま市附属機関の設置等に関する条例（平成26年さいたま市条例第2号）第6条の規定に基づき、さいたま市大宮盆栽美術館運営委員

会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（委員長及び副委員長）

第2条 委員会に委員長及び副委員長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第3条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 会議の議長は、委員長をもって充てる。

3 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

4 委員会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

5 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者に対し、出席を求めて説明若しくは意見を聴き、又は必要な資料の提出を求めることができる。

（会議の公開）

第4条 委員会の会議は、公開とする。ただし、出席した委員の過半数の同意を得たときは、公開しないことができる。

（庶務）

第5条 委員会の庶務は、スポーツ文化局において処理する。

（一部改正〔平成27年規則36号〕）

（委任）

第6条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

#### 附 則

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成27年3月20日規則第36号）

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

### さいたま市条例26号

#### さいたま市盆栽資料等選考評価委員会条例

（設置）

第1条 市長の諮問に応じ、大宮盆栽美術館に収蔵する盆栽その他美術品等（以下「盆栽資料等」という。）の収集に係る選考及び評価に関し必要な事項について調査審議するため、さいたま市盆栽資料等選考評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（組織）

第2条 委員会は、委員6人以内をもって組織する。

2 委員は、学識経験を有する者のうちから、市長が委嘱する。

（任期）

第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（臨時委員）

第4条 委員会に、盆栽資料等の収集に係る選考及び評価に当たって特別の事項を調査審議させるため、臨時委員を置くことができる。

2 臨時委員は、学識経験を有する者のうちから、市長が委嘱する。

3 臨時委員の任期は、特別の事項に関する調査審議が終了するまでとする。

（委員長）

第5条 委員会に委員長を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代理する。

（会議）

第6条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 会議の議長は、委員長をもって充てる。

3 委員会は、委員及び議事に関係のある臨時委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

4 委員会の議事は、出席した委員及び議事に関係のある臨時委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

5 委員長が必要と認めるときは、委員及び議事に関係のある臨時委員以外の者に対し、出席を求めて説明若しくは意見を聴き、又は必要な資料の提出を求めることができる。

6 選考又は評価の対象となる盆栽資料等に係る直接の利害関係を有する委員及び議事に関係のある臨時委員は、その会議に参加することができない。

（会議の公開）

第7条 会議は、公開とする。ただし、盆栽資料等の選考及び評価に係る審議の手続は、公開しない。

（守秘義務）

第8条 委員会の委員及び臨時委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

（庶務）

第9条 委員会の庶務は、スポーツ文化局において処理する。

（委任）

第10条 この条例に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

#### 附 則

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

## さいたま市大宮盆栽美術館 年報 第14号

---

発行日 令和7年(2025)1月30日  
編集・発行 さいたま市大宮盆栽美術館  
〒331-0804 さいたま市北区土呂町2-24-3  
電話 048-780-2091  
FAX 048-668-2323  
印刷 株式会社 エビス

---

本冊子は、200部発行し、1部あたりの印刷経費は1,485円です。



さいたま市 大宮盆栽美術館